FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構(PS5600C50/PS5110B50)

取扱説明書



目次

第1章	概要	22
1.1	製品概要	
1.2	機能概要	
1.3 1.3.1 1.3.2	各部の名称 前面 背面	
1.4	接続構成	
1.5	印刷機能	
1.5.1	バーコード印刷	
1.6	運用イメージ	
第2章	運用方法	33
2.1	設定項目の確認	
2.2 2.2.1	印刷運用の流れ 運用開始前の準備と設定	35 35
2.3 2.3.1 2.3.2	運用の手順 電源 ON 電源 OFF	
2.3.3	富士通メインフレームからの印刷実行	
2.3.4 235	本装直の設定 プリンタ装置の印刷品質調整	40 41
2.3.6	オープンサーバ印刷への切り替え準備	41
2.3.7	オープンサーバからの印刷	42
2.3.8	富士通メインフレーム印刷への切り替え	42
第3章	Web-UI の概要	43
3.1	Web-UI の操作画面	
3.2	動作環境	
3.3	注意事項	
3.4	ログイン	
3.4.1	 ニシーン	
3.4.2	ユーザモードと権限	45
3.4.3	ユーザモードのパスワード	46
3.5	Web-UI の画面構成	

第4章	Web-UI 操作 (メインパネル)	47
4.1	状態コード表示エリア	48
4.2	装置状態表示エリア	
4.3	エラーコード/データ処理中表示エリア	49
4.4	メッセージエリア	50
4.5	インフォメーション通知エリア	51
4.6	プリンタ情報表示・操作エリア	53
4.7	装置情報表示エリア	
4.8	接続チャネル情報表示エリア	
4.9	データ/リカバリランプ表示エリア	
4.10	装置操作ボタンエリア	61
4.11	「ログアウト」ボタンエリア	
第5草	Web-UI 操作(メニューバネル/コンテンツパネル)	6/
5.1	一般ユーザモードメニュー	72
5.1.1	設定值一覧	73
F 1 D		7/
5.1.2	印刷位置設定	74
5.1.2 5.1.3	印刷位置設定	74 77
5.1.2 5.1.3 5.1.4	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定 (一般設定)	74 77 83
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2500 設定)	74 77 83 85 85
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定)	74 77 83 85 86 92
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定	
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 プリンタ設定	74 77 83 85 86 92 93 94
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10	 印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 プリンタ設定 データ操作 	74 77 83 85 86 92 93 94 95
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11	 印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 プリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード 	74 77 83 85 86 92 93 94 95 99
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.1.11	 印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 ブリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー 	74 77 83 85 86 92 93 94 95 99 101
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1	 印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 プリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 	74 77 83 85 86 92 93 94 95 99 99 101 102
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2	 印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 プリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 プリンタ設定 	74 77 83 85 86 92 93 94 95 99 95 99 101 102 104
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2 5.2.3	 印刷位置設定 用紙設定 印刷設定 (一般設定) 印刷設定 (JEF 設定) 印刷設定 (第 2FPD 設定) 印刷設定 (JEF/AP 設定) チャネル設定 ブリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 プリンタ設定 プリンタ設定 アクセス制御 	74 77 83 85 92 93 93 94 95 99 99 101 102 104 109
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2 5.2.3 5.2.4	印刷位置設定 用紙設定 用 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) ジリンタ設定 ジリンタ設定 データ操作 コーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 プリンタ設定 ワリンタ設定 アクセス制御 日時設定	74 77 83 85 92 93 94 95 99 101 102 104 109 10
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2 5.2.3 5.2.4 5.2.5	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 プリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 ブリンタ設定 プリンタ設定 アクセス制御 日時設定 長示設定	74 77 83 85 92 93 94 95 99 99 101 99 101 102 104 109 112
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2 5.2.3 5.2.4 5.2.5 5.2.6	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) 5ャネル設定 ブリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 ブリンタ設定 アクセス制御 日時設定 表示設定 ログ	74 77 83 85 86 92 93 94 95 99 101 99 101 102 104 112 115
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2 5.2.3 5.2.4 5.2.5 5.2.6 5.2.7	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) チャネル設定 ブリンタ設定 ブリンタ設定 データ操作 ユーザ管理者モード ユーザ管理者モードメニュー ネットワーク設定 ブリンタ設定 ワクセス制御 日時設定 表示設定 ログ UPS 設定	74 77 83 85 92 93 94 95 99 101 99 101 99 101 112 115 117
5.1.2 5.1.3 5.1.4 5.1.5 5.1.6 5.1.7 5.1.8 5.1.9 5.1.10 5.1.10 5.1.11 5.2 5.2.1 5.2.2 5.2.3 5.2.4 5.2.5 5.2.6 5.2.7 5.2.8	印刷位置設定 用紙設定 印刷設定(一般設定) 印刷設定(JEF 設定) 印刷設定(第 2FPD 設定) 印刷設定(JEF/AP 設定) 5 7 </td <td>74 77 83 85 86 92 93 94 95 99 101 99 101 102 102 109 110 112 115 117 120</td>	74 77 83 85 86 92 93 94 95 99 101 99 101 102 102 109 110 112 115 117 120

第6章	トラブルシューティング	123
付録 A	仕様	130
付録 B	非互換一覧	131
付録 (C.1	<mark>設置諸元</mark> 設置条件(プリンタ装置、管理端末を除く)	132
付録 D	オプション機構	133
付録 E	装置添付品	135
付録 F	周辺機器(推奨)	136

図目次

図 1.1	本装置の接続例	
図 1.2	コントロールパネルのボタンと表示ランプ	
図 1.3	ドライブの表示ランプ	
図 1.4	背面と電源ユニット	
図 1.5	FCLINK カード(標準)	
図 1.6	接続構成	
図 1.7	接続構成(メインフレームとプリンタ装置が離れている場合)	
図 3.1	Weh-III	43
図 3.2	通信エラーのエラーダイアログ例	44
図 3.3	Web-IIIの画面構成	46
図 4.1	メインパネルの構成	47
図 4.2	エラーコード表示	49
図 4 3	データ処理中表示	50
図 4 4	エラーメッヤージ表示	50 50
図 4 5	ログ ジジロ ジンS Allin	50 51
図46	インフォメーション通知	51
図 4 7	インフォメーションのポップアップ画面	52 52
図 4.8	「プリンタ接続」ボタン	
図 4.9	プリンタ接続確認画面	53
図 4.10	プリンタ接続失敗画面	54
図 4.11	「プリンタ切断」ボタン	
図 4.12	プリンタ切断確認画面	
図 4.13	プリンタ切断確認画面(データランプ点灯)	
図 4.14	プリンタ名	
図 4.15	プリンタ状態	
図 4.16	装置名	58
図 4.17	ファームウェア版数表示	58
図 4.18	日時表示	
図 4.19	ホスト接続情報	
図 4.20	「スタート」ボタン	
図 4.21	富士通メインフレームと通信中画面	
図 4.22	READY 状態のメインパネル	62
図 4.23	「ストップ」ボタン	
図 4.24	ストップ処理中画面	
図 4.25	NOT READY 状態のメインパネル	
図 4.26	リセット可能なエラー状態	
図 4.27	リセット処理中画面	64
図 4.28	「ログアウト」ボタンエリア	
図 5.1	メニューパネルとコンテンツパネル	
図 5.2	ユーザモード表示領域	
図 5.3	設定情報入力時のエラー表示例	69
図 5.4	設定未適用時の警告画面	
図 5.5	設定未適用時の確認画面	
図 5.6	設定値一覧	
図 5.7	印刷位置設定	
図 5.8	垂直位置/水平位置/オーバレイ位置の移動範囲	

図 5 9	用紙設定	77
図 5 10	田紙情報登録面面	80 80
図 5.10	用紙情報出於確認面面	Q1
	用纯虑却学知而责	01
凶 5.12	/川利(月牧)計和 田	02
凶 5.13	印刷設定の一枚設た	83
凶 5.14	印刷設定の JEF 設定	85
図 5.15	第 2FPD 設定	87
図 5.16	第 2FPD 削除確認画面	89
図 5.17	プロテクト画面	90
図 5.18	コメント編集画面	91
図 5.19	印刷設定の JEF/AP 設定	92
図 5.20	チャネル設定	93
図 5.21	プリンタ設定	95
図 5.22	データ操作	95
図 5.23	「クリアプリント」ボタン操作可能状態	96
図 5 24	クリアプリント確認画面	96
図 5 25	クリアプリント実行中画面	97
図 5.25 図 5.26	クリアプリント失敗両面(プリン々状能がスタートではない)	97
図 5.20	クリアプリント生敗両面(プリンタで田紙づまりが登生)	97
図 5 7 2	ノリアノリントへ気画面(ノリンノC市私ノ6リが元上)	00
凶 3.20	「ノータイヤノビル」 ホタノ休口 B II (八窓	90 00
凶 5.29	キャノビル唯認回国	90
凶 5.30	テーダキャノセル夫行中画面	99
凶 5.31	ユーサ官理者モートのハスワート入力画面	99
凶 5.32	ハスリード人力上フー画面	100
図 5.33	連用・管理ホート用ネットワーク設定(LAN1)	102
凶 5.34	フリンタ接続ボート用ネットワーク設定(LAN2)	102
図 5.35	ネットワーク設定の適用画面1	103
図 5.36	プリンタ設定(プリンタ接続設定)	104
図 5.37	プリンタ設定(プリンタ連携設定)	104
図 5.38	プリンタ設定の適用画面	105
図 5.39	プリンタを接続中の画面(接続確認クリック時)	106
図 5.40	プリンタを接続中の画面(適用クリック時)	106
図 5.41	接続確認の確認画面	106
図 5.42	接続確認中を示す画面	107
図 5 43	接続成功時の確認結果画面	107
図 5 44	接続失敗時の確認結果面面	107
図 5 / 5	プリンク 接続 生 版 両 ん (異 な ス モ デ し の プ リ ン 々 接 続)	107
図 5.45	プリンク接続へ気画面(共体のビアルのクラクク接続)	
凶 3.40	ノリノノ技術中の画面	100
凶 5.47	ノリノソ技統大以回国(他で使用中)	
凶 5.48	水影達修中の一面	108
凶 5.49	アクセス制御	109
図 5.50		110
図 5.51	NIP サーバとの時刻同期中画面	111
図 5.52	表示設定(日時表示設定)1	112
図 5.53	表示設定(接続先情報表示設定)	112
図 5.54	日時表示を「あり」に設定した場合 1	113
図 5.55	日時表示を「なし」に設定した場合	113
図 5.56	接続先情報表示設定の画面 1	114
図 5.57	接続先情報表示設定削除確認の画面	115
図 5.58	サポートログ収集	116
図 5.59	サポートログ収集確認画面	116
⊠ 5.60	サポートログ収集中ポップアップ画面	116
図 5 61	UPS 設定(UPS 設定)	117
- 5.01		,

図 5.62	UPS 設定(自動停止設定)	118
図 5.63	設定可能な自動停止設定	118
図 5.64	入力可能な UPS 設定	119
図 5.65	UPS 設定の適用画面	120
図 5.66	パスワード変更(一般ユーザ)	120
図 5.67	パスワード変更(ユーザ管理者)	121
図 5.68	一般ユーザパスワードの初期化画面	121
図 5.69	一般ユーザモード	122
図 (.1	保守エリア	132

表目次

表 1.1	コントロールパネルのボタンと表示ランプ	
表 1.2	ドライブの表示ランプ	26
表 1.3	背面と電源ユニット	28
表 1.4	FCLINK カード	28
表 2.1	従来 PS5000 シリーズでの運用から変更/追加される項目	
表 3.1	Web-UI の動作環境	43
表 3.2	ユーザモードとアクセス制限	45
表 3.3	ユーザモードと初期パスワード	46
表 3.4	画面構成	46
表 4.1	メインパネルの部品一覧	47
表 4.2	装置状態表示エリア	48
表 4.3	メッセージアイコンとメッセージ表示	52
表 4.4	インフォメーションのポップアップ画面	52
表 4.5	プリンタ接続確認画面の操作	54
表 4.6	プリンタ切断確認画面の操作	56
表 4.7	プリンタ状態一覧	57
表 4.8	ホスト接続情報表示	59
表 4.9	データランプ、リカバリランプの表示状態と意味	60
表 4.10	装置状態の表示と機能	61
表 4.11	「電源」ボタンを押したときのポップアップ画面	65
表 5.1	ユーザモード表示領域	68
表 5.2	装置状態と選択可能なメニュー	69
表 5.3	メニューパネル	
表 5.4	一般ユーザモードメニュー一覧	
表 5.5	印刷位置設定の設定項目	74
表 5.6	垂直位置/水平位置/オーバレイ位置の移動量調整可能範囲	
表 5.7	用紙設定	
表 5.8	用紙情報(登録)	80
表 5.9	用紕情報(詳細)	
表 5.10	印刷設定(一般設定)	
表 5.11	印刷設定(JEF 設定)	
表 5.12	印刷設定(第 2FPD 設定)	
表 5.13		
表 5.14	コメント編集画面の操作	
表 5.15	印刷設定(JEF/AP 設定)	
表 5.16	チャネル設定の項目	
表 5.1/	テノオルト用紙長の設定項目	
表 5.18	ユーサ官理者セートメーユーー覚	101
表 5.19	イットワーク設定の項日	103
表 5.20	ノリンダ設定の項日	
衣 5.21	アンセス利御の項日	109
衣).22 まてつつ		I I U
衣 ひ.2づ	按枕 元 府 牧 衣 示 設 足 の 頃 日	114
衣 5.24 まてつて	UY3	II8
衣).25 主(1	ハスノートを史の設定項日(一枚ユーリ/ユーリ官理石)	IZI
衣 0.1	衣匣コートの内谷仏態	123

表 6.2	装置状態内容と処置 基本仕様	
衣 A.1 表 B.1	※本は後 従来構成と富士通メインフレーム + 本装置 +PS5000 シリーズとの相違点	
表 (.1	設置条件	132
表 C.2	設置条件(ラック搭載)	132
表 D.1	PS5600CL/PS5110BL 共通オプション	133
表 D.2	PS5600CL 用オプション	133
表 D.3	PS5110BL 用オプション	
表 E.1	装置添付品	135
表 F.1	推奨周辺機器	136

はじめに

このマニュアルは、チャネル接続機構(PS5600C50/PS5110B50)を使用して、PS5600CL、PS5110BLページ プリンタ装置(以降、PS5600C、PS5110Bと表記します)の設定および運用する方法について説明しています。

チャネル接続機構は、富士通メインフレーム(GS)と PS5600C または PS5110B を FCLINK チャネル接続して 運用するためのオプションです。

このマニュアルは、本装置を使用されるシステム設計者およびオペレーターの手引きとしてご利用いただくことを目的として説明しています。

このマニュアルの内容についてよくご理解いただいたうえでご使用ください。

第3版

2022年1月

本製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。 したがって、日本国外でのご使用はできません。

登録商標

本装置に関連する他社商標については、以下のサイトを参照してください。 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/brand.html

- QR コードは、(株) デンソーウェーブの登録商標です。
- Magic Packet は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
- その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。
- ・このマニュアルに記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。

内容と構成

このマニュアルは、以下の構成になっています。

● 第1章 概要

製品概要、機能概要、および装置外観の各部名称について説明しています。

- ●第2章 運用方法
 起動と停止、環境設定、印刷などの本装置の基本操作について説明しています。
- 第3章 Web-UIの概要
 Web-UIを使用する際の動作環境、操作画面、各種メニューの操作手順について説明しています。
- 第4章 Web-UI 操作(メインパネル) 本装置の状態表示と主な操作(メインパネル)について説明しています。
- 第5章 Web-UI 操作(メニューパネル/コンテンツパネル) 本装置の状態表示と主な操作(メニューパネル/コンテンツパネル)について説明しています。
- 第6章 トラブルシューティング
 トラブルシューティングについて説明しています。

付録として以下の内容を掲載しています。

- 付録 A 仕様
- 付録 B 非互換一覧
- 付録 (設置諸元
- 付録 D オプション機構
- 付録 E 装置添付品
- 付録 F 周辺機器(推奨)

安全に使用していただくために

このマニュアルには、本装置を安全に正しくお使いいただくための重要な情報を記載しています。 本装置をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」(P.15) をよく読み ご理解されたうえで本装置をお使いください。

また、このマニュアルは、本装置の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

■ 電波障害対策について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

■ アルミ電解コンデンサについて

本装置のプリント板ユニットに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用 し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。

目安として、通常のオフィス環境(25℃)で使用された場合には、保守サポート期間内(5年)には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働など、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

■ ハイセイフティ用途での使用について

本装置およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定した ものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。 お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでくだ さい。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない 場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

■ 瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷によって生じた電源ユニットの瞬時電圧低下により影響を受ける可能性があります。瞬時電圧低 下を防ぐために、無停電電源装置(UPS)のご使用を推奨します。

(この注記は、JEITA(社団法人電子情報技術産業協会)が発行したガイドライン『パーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策』に従っています。)

■「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

■ 高調波電流規格について

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

表記について

この取扱説明書は、いろいろな絵表示を使用しています。これは本装置を安全に正しくご使用いただき、あなた や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意 味は以下のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う おそれがあることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことがあり得ることと、 物的損害が生じる危険性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものなのかを区別するために、上記の表示と同時に以下のような記 号を使っています。



△ で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中や その脇には、具体的な警告内容(左図の場合は感電注意)を示しています。



◇で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。



●で示した記号は、必ず行っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は電源プラグを抜く)を示しています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号については、以下のような意味があります。

お使いになるときに注意していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。



注意

操作や設定を行ううえで知っておくと便利な機能や使い方など、本文を補足する内容を 記載しています。

使用している用語について

項	用語	内容
1	JEF(ライン	Japanese processing Extended Feature.
	プリンタモード)	富士通が独自開発した拡張漢字コードをベースとした日本語処理機能を持つ印刷データの名称です。
2	JEF/AP(ページ	Japanese processing Extended Feature/Advanced Printing.
	プリンタモード)	JEFの日本語処理機能に、アウトラインフォントやページ単位の制御等などを加えることで、
		表現の自由度を大きく高めた拡張印刷データの名称です。
3	DPI	Dot Per Inch.
		プリンタの解像度(ドット密度)を表す単位記号です。約 25.4mm(1 インチ)あたりに印
_		刷されるドット数を表します。
4	CPI	Character Per Inch.
		約 25.4mm(1 インチ)あたりに印刷できる文字数を表します(文字ピッチとも言います)。
5	LPI	Line Per Inch.
_		約 25.4mm(1 インチ)あたりに印刷できる行数を表します(行ピッチとも言います)。
6	坪量 (g/m ²)	1 mあたりの用紙の重さ(用紙の厚さを示す単位)です。
7	連量 (kg)	四六判用紙 1000 枚の重さ(用紙の厚さを示す単位)です。
8	GS1-128	医療用などに使用される GS1-128 コード(旧 UCC/EAN-128)です。
9	GS1-128	公共料金など代理収納 GS1-128 コード((旧 UCC/EAN-128)コンビニ料金代理収納用)
	(料金代理収納)	です。

関連マニュアル

本書から参照する関連マニュアルには、以下のものがあります。括弧内はマニュアルコードを示します。

- PS5600C ページプリンタ装置 取扱説明書(C145-E480)
- PS5110B ページプリンタ装置 取扱説明書(C145-E467)

安全上のご注意

設置時の注意事項

■ 準備



本装置は、情報技術機器の関連する安全規則に準拠しています。本装置を設置する際は、当 社保守技術員(担当 CE)にご連絡ください。

このマニュアルには、ハードウェアの設置作業の一部としてユーザーが注意すべき点や禁止 事項、および当社保守技術員(担当 CE)または担当者が行うべき作業に関する情報を記載し ています。

■ 輸送、開梱、設置



- 本装置が寒い環境から操作室に移動された場合、結露が生じる場合があります。本装置が 室温で温まり、完全に乾いた状態になるまで、本装置の起動を実施しないでください。
 順応時間は、本装置の構成や搭載により異なりますが、最低でも12時間以上必要です。
- 本装置の開梱から、設置および装置を使用開始するまで、本装置に関する設置要件や取扱 情報の指示に従ってください。設置要件には、設置場所の大きさ、電気値、必要な環境、 気候条件などが含まれます。

\警告



- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでくだ さい。
 - 故障・火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足がひっかかる場所には設置しないでください。
 故障の原因となります。
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置しないでください。
 故障の原因となります。
- ・腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。
 故障の原因となります。
 腐食性ガスや塩風は、装置を腐食させ、誤動作、破損、および装置寿命を著しく短くする
 原因となりますので、空気清浄装置を設置するなどの対策が必要になります。また、塵埃
 が多い場所についても、記憶媒体の破損、冷却の妨げなどにより、誤動作や寿命短縮の原
 因となります。
 - 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉/火山地帯などがあります。
 - 塩害地域の目安としては、海岸線から 500m 以内となります。
- 本装置の上に重量物を載せないでください。また、本装置の上に物を落としたり、衝撃を 与えたりしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因とな ります。また、本装置が故障したり誤動作をしたりする場合があります。



- ・地震発生時の転倒防止のために、ラックシステム設計の際には必ず装置/ラックの固定などの耐震対策を行う必要があります。担当営業員にご相談ください。
- 本装置(ラックシステムを含む)は、250gal(震度 5 強相当)以下の振動では問題なく 動作されるように設計されています。
- 本装置は、水平で安定した場所、および大きな振動の発生しない場所に設置してください。振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所は、装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因になりますので、設置しないでください。
- •本装置を移動するときは、必ず電源を切り、ケーブル類を外してください。

■ ケーブル類の接続



荒天時にデータ転送路を接続したり、接続を切断したりしないでください(落雷の危険があります)。

ケーブル類を接続する場合または接続を取り外す場合、必ずプラグを持って作業を行ってく ださい。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルがプ ラグから外れる可能性があります。

損傷したり曲がったりする危険がないようにケーブルを配線します。

■ 電源へのシステムの接続



現地の電源環境が、本装置の定格電圧に適合することを確認してください。要件を満たさない場合は、本装置が損傷または破損することがあります。



- 運用を開始する前に、すべてのケーブル類が正常であり、破損していないことを確認してください。特に、ケーブルが曲がっていないこと、角にきつく配線していないこと、ケーブルの上に何も配置されていないことを確認してください。また、すべてのコネクタがしっかりと固定されていることを確認してください。ケーブルに不具合や、配線に不備があると、健康を害したり(感電)ほかのデバイスを損傷するおそれがあります。
- 電源プラグのある本装置は、使用する国の安全性試験に合格した AC 交流電源ラインを備 えており、認可済みの耐衝撃ソケットにのみ接続できます。これ以外のものに接続すると 感電するおそれがあります。
- 本装置のソケットまたは PE(保護接地)壁コンセントの周辺に障害物がなく、緊急時には誰でも電源プラグをソケットから抜くことができるようになっていることを確認してください。また、ソケットを電源回路から切断するブレーカーが建物内に設置されている必要があります。
- ・故障時または整備が必要な状況が発生した場合(データの格納やケーブルに不具合がある 場合、液体や異物が本装置に入った場合など)は、電源が遮断されることがあります。
 建物内の設置に関する問題は、必要に応じて建物の管理者に連絡してください。

▲警告



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
 感電の原因となります。
- ・電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
 重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源
 ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルを折り曲げるなどして束ねた状態で使用しないでください。
 ケーブルは伸ばして使用してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。



- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
 電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。
 - ・電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
 そのまま使用すると、火災の原因となります。



電源を投入する前に、必ずアース接続をしてください。 アース接続ができない場合は、担当営業員にご相談ください。 万一漏電した場合、火災・感電の原因となります。

操作中の注意事項

- 貴金属、クリップなどの異物や液体が本装置に入らないようにしてください。 感電や短絡(ショート)が発生する可能性があります。
- 本装置の使用中に換気が正常に行えないと、装置の温度上昇が発生する危険があります。
 換気口がふさがれていないこと、およびほこりで汚れていないことを確認してください。
 換気口がふさがれていると、操作に支障をきたすことがあります。
- 本装置が正常に使用できるのは、格納カバーを正しく取り付け、ドアを閉めた状態の場合のみです(冷却、防火、電界、磁界、電磁界に対する遮蔽)。
 この要件を満たす場合に、EMC(電磁環境両立性)に適合した限界値が適用されます。

・故障時および整備中は電源プラグを抜いてください。
 本装置の電源を切っても、本装置は回路から切断されません。故障時や整備時には、本装置の電源プラグを抜く必要があります。
 以下の手順を行ってください。

- (1)本装置の電源を切断する
- (2)メイン プラグを抜く
- (3)修理相談窓口に連絡する

本装置が無停電電源装置(UPS)に接続されているときは、UPS へのプラグを抜いても引き続き動作します。この場合は、UPS のユーザーマニュアルに従って、UPS をシャット ダウンする必要があります。

- 周辺機器もまた、配電から切断しただけでは電源を切ったことにはなりません。主電源から完全に切断するためには、電源プラグを抜く必要があります。
- 本装置の上または近くに花びん・植木鉢・コップなどの水や液体が入った容器、金属物を 置かないでください。
 故障・火災・感電の原因となります。
- 清掃の際、清掃用スプレー(可燃性物質を含む物)を使用しないでください。
 故障・火災・感電の原因となります。
- 本装置の上に重量物を載せないでください。また、衝撃を与えないでください。 バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。
- CD/DVD ドライブなどの差し込み口に指などを入れないでください。 けがの原因となります。
- •携帯電話などを本装置に近づけて使用しないでください。 本装置が正しく動作しないおそれがあります。
- 指示 **()**
- 周囲で殺虫剤などを使って害虫駆除を行う場合には、本装置を停止し、ビニールなどで保 護してください。



- 本装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源 ケーブルなども外してください。
 - 作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、火災・感電の原因と なったり、本装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
 - 長時間本装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 火災・感電の原因となります。
 - 万一、本装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本装置の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後修理相談窓口に連絡してください。
 お客様自身による修理は危険です。絶対に修理しないでください。

異常状態や不適切な修理のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 ・ 異物(水・金属片・液体など)が本装置の内部に入った場合は、ただちに本装置の電源を 切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理相談窓口に連絡してく ださい。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本装置がスライドレール式ラックに取り付けられている場合は、本装置をラッ クから引き出しすぎないように気を付けてください。本装置がラックから落下 して、本装置が破損したり、けがをするおそれがあります。

整備上の注意事項

■ 拡張、修理



本装置の修理は認可された資格者だけが行うことができます。不適切な修理を行うと、著し い危険が伴うことがあります(感電、火災)。



不正に本装置や本装置の各部品を解体することは非常に危険です。不正に本装置や本装置の 各部品を解体すると、保証の無効および賠償の対象外となります。





- 本装置を勝手に改造しないでください。
 火災・感電の原因となります。
- 本装置のカバーや差し込み口に付いているカバーは取り外さないでください。
 内部の点検、修理は修理相談窓口にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

ラック キャビネットの取り扱い

ラックキャビネットを取り扱ううえで、安全に関する注意事項を示します。



- ラックの固定
 - ラックが倒れないように必ず固定してください。
 - スタビライザーを設置する必要のあるシステムおよびラック キャビネットは、必ず適切 な部品を使用してスタビライザーを取り付けてください。

ただし、ラックが固定されている場合でも、スライド式のモジュールがレールから外れる おそれがあります。複数のモジュールが同時に引き出された場合、ラックの安定性が保た れない事態が発生することがあります。

・ 過負荷の防止
 同じ回路に多数のデバイスが接続されている場合は、電流分布に過負荷が生じていないことを確認してください。製品のタイプ表示に記載されている公称値に従ってください。



・システムの接地

システムのアース(アース線)は、サーバ デバイスまたは周辺機器に接続されます。 ラック キャビネットの接地は、電気保安上は必要ではありませんが、特定の基準および 標準に準拠する必要がある場合があります。

静電気敏感性コンポーネントを含むモジュール(EGB/ESD)

EGB とは ESD(静電気放電)のことで、静電気放電に脆弱なコンポーネントを保護し、損傷や破損が発生しな いようにするために行う処置を指します。静電気敏感性コンポーネントを含むシステムやモジュールには、通常 以下のような識別表示があります。



静電気敏感性コンポーネントを 含むモジュールの表示

静電気敏感性コンポーネントが破損することを防ぐため、以下の処置を行ってください。



- モジュールの設置および取り外しの準備 静電気敏感性コンポーネントを含むモジュールに触れる前に、(接地されているものに触 れるなどして)静電気を放電してください。
- 保護を確実にするため、このタイプのモジュールを取り扱う際に手首に人体接地用バンド (リストストラップ)を装着している場合は、リストストラップをシステムの塗装されて いない非導電の金属部分に接続してください。
- 静電気を発生させない道具のみを使用してください。
- コンポーネントを取り付けまたは取り外す前に、本装置の電源を切断し、本装置の電源 コードを抜いてください。
- モジュールの運搬
 モジュールの端部分のみを触れるようにしてください。モジュールの端子ピンや伝導路に 触れないでください。
- モジュールの取り付けと取り外し
 モジュールを取り付けおよび取り外す際に、リストストラップを着用するか、または金属
 質のものに手を触れて、人体の静電気を放電してください。
 静電気を放電せずに作業を行うと、本装置が故障するおそれがあります。
 作業中はセロファンの包装(菓子類やタバコなど)に触らないでください。これらの包装
 に触れると、静電気が増加します。
- モジュールの保管
 モジュールは常時、保護 ESD 包装に入れて保管してください。保護 ESD 包装は損傷がない状態である必要があります。極度に折り目が付いたり、穴が開いたりしている保護 ESD
 包装は、静電気に対する保護になりません。

1.1 製品概要

本装置(チャネル接続機構)は、FCLINK チャネル(*1)経由で印刷可能な PS5600CL、PS5110BL 専用の外付 けオプション装置です(*2)。

PS5600CL、PS5110BL では、富士通メインフレームから、FCLINK/CTS 経由での JEF(ラインプリンタモード) および JEF/AP(ページプリンタモード)の形式のデータを印刷できます。本装置の操作や設定は、運用管理端 末の Web ブラウザから行います(Web-UI 操作)。



図 1.1 本装置の接続例

- *1: コンソール・テープ接続機構チャネル(CTS)も含みます。
- *2: 本装置は従来 BMC/ プリンタ接続機構(PSD)チャネル接続用の PS5600CK、PS5110BK には接続できません。
- *3: 2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)オプションの導入が必要です。2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)は、PS5600CL/ PS5110BL 共通オプションです。

1.2 機能概要

本装置は、富士通メインフレームから FCLINK チャネル経由で PS5600C、PS5110B へ印刷するための中継を行います。チャネル印刷に関する以下の機能を提供します。

- 富士通メインフレームからの印刷データや各種制御コマンドの送受信
- プリンタ装置の状態情報の取得と富士通メインフレームへの通知
- チャネル印刷に関連する各種設定(「5.1.4 印刷設定(一般設定)」(P.83) ~ 「5.1.7 印刷設定(JEF/AP 設定)」(P.92) 参照)
- 本装置の状態表示(<u>「4.2 装置状態表示エリア」(P.48)</u>参照)
- チャネル接続の ON Line / OFF Line の操作(<u>「5.1.8 チャネル設定」(P.93)</u>参照)
- ・印刷データのクリアプリント/データキャンセルの操作(「5.1.10 データ操作」(P.95) 参照)

1.3 各部の名称

1.3.1 前面

前面にある各部の名称と動作について説明します。本装置前面には以下の部品があります。

- コントロールパネル
- 3.2TB 内蔵ソリッドステートドライブ(以降、SSD と記載)

■ コントロールパネルのボタンと表示ランプ

コントロールパネルにあるボタンおよび表示ランプの名称と動作について説明します。



図 1.2 コントロールパネルのボタンと表示ランプ



項番	名称	機能
(1)	リセットボタン (REST)	本ボタンを押すと本装置がリブートします。 データ損失の危険性があります。 注意
(2)	保守用ボタン (NMI)	お客様は本ボタンを使用しないでください。 注意 本ボタンは保守技術員(担当 CE)のみ使用します。
(3)	ID ボタン/ ID ランプ	本ボタンを押すと本装置の前面および背面の ID ランプが同期して点灯します。 消灯するにはもう一度本ボタンを押します(*1)。 *1: ID ランプはトラブル時にも点灯する場合があります。
(4)	CSS 表示ランプ	本ランプが点灯・点滅した場合は <u>「第6章トラブルシューティング」(P.123)</u> を参照して ください。
(5)	保守ランプ	本ランプが点灯・点滅した場合は保守技術員(担当 CE)に連絡してください。
(6)	SSD アクセス 表示ランプ	SSD アクセス中に緑色に点滅します。詳細な SSD の状態は、 <mark>「■</mark> SSD ドライブの表示ラン <u>プ」(P.26)</u> を参照してください。

表 1.1 コントロールパネルのボタンと表示ランプ

項番	名称		機能
(7)	電源ボタン	 本装置の電源が OFF で主電源 電源を投入することができま 本装置の電源が ON の場合に 通常、本装置の電源を OFF (置操作ボタンエリア」(P.61 ・印刷: デー ボタ ・電源 主電 	 原に接続されている場合に、電源ボタンを押すと本装置のます。 本装置の電源を切断し、スタンバイモードにできます。 こする場合は、Web-UIから実施してください(「4.10装)の電源ボタン参照)。 処理中や本装置に印刷データが残っている状態(「4.9 タ/リカバリランプ表示エリア」(P.60)参照)で電源ンを操作すると印刷データが失われる危険があります。 ボタンで主電源を切ることはできません。 源を切るには、電源プラグを抜きます。
		電源ホダノは以下のこのり黒灯	
			電源 OFF
		緑色にゆっくり点滅	本装置の監視/電源制御機能を起動中
(0)	雨でキニーンプ	声はポッシュの十回にキャーナ	
(8)	電源表示ラクク (AC 接続)	電源ホタノの石側にのります。 電源表示ランプは以下のとおり	点灯します。
		状態	説明
		消灯	電源 OFF で主電源に接続されていない、または 電源 ON で正常動作中
		緑色に点灯	電源 OFF で主電源に接続されている (スタンバイモード)
		<mark>注意</mark> 本装置を主電源に接続したある ます。	こ、スタンバイモードに切り替わるまで約 60 秒かかり

■ SSD ドライブの表示ランプ

ドライブにある表示ランプの名称と動作について説明します。



図 1.3 ドライブの表示ランプ

表 1.2 ドライブの表示ランプ

項番	名称	機能
(1)	アクセスランプ	SSD アクセス時、緑色に点灯します。
(2)	故障ランプ	SSD 故障時、オレンジ色に点灯します。故障ランプ点灯時は保守技術員(担当 CE)に連絡してください。

1.3.2 背面

背面にある各部の名称と動作について説明します。本装置背面には以下の部品があります。

- 電源ユニット
- FCLINK カード



- 図 1.4 背面と電源ユニット
- *1: 2 チャネルスイッチ (PS5CHSW) オプションを導入した場合に搭載されます。



項番	名称	機能			
(1)	保守ランプ / ID ランプ	保守ランプは以下のとおり点灯・点滅します。オレンジ色に点灯・点滅した場合は、保守 技術員(担当 CE)に連絡してください。			
	/(55,52)	状態	説明		
		オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき		
		オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき		
		消灯	故障を検知していない場合		
		本装置前面の ID ボタンを押すと、前面および背面の本 ID ランプが同期して青色に点灯し			
		│ます。 │消灯するには再度ボタンを押し3	ます。		
(2)	LAN リンク	LAN コネクタの確立時、緑色に点灯します。			
(3)	/転送	LAN 接続がない場合、消灯します。			
(4)		LAN データ転送中、緑色に点滅します。			
(5)	LAN 速度	LAN 転送速度が 1Gbit/s のデータトラフィックがある場合、黄色に点灯します。			
(6)		LAN 転送速度が 100Mbit/s のデータトラフィックがある場合、緑色に点灯します。			
(7)		LAN 転送速度が 10Mbit/s のデータトラフィックがある場合、消灯します。			
(8)	電源ユニット 表示ランプ	本装置の電源を切ると緑色に点滅しますが、主電源電圧は存在します(スタンバイモード)。 本装置の電源が入り、正常に動作している場合、緑色に点灯します。 オレンジ色の点滅・点灯の場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。			

表 1.3 背面と電源ユニット



図 1.5 FCLINK カード(標準)

表 1.4 FCLINK カード

機能

富士通メインフレームとのインターフェースとして、以下のとおり点灯・点滅します。

	説明	
(1)(2)(3)すべて消灯	接続断状態	
(1) が黄色に点灯	通信状態(初期化中)	
(1) が黄色に点滅	通信状態(初期化完了)	
(2)と(3)が交互点滅	ファームウェアエラー	
(1)が点滅	通信状態	
(1) が点灯	リンク状態	

注意

本装置は、2Gbps/4Gbpsの転送速度はサポートしていません。 FCLINK カード(オプション)は上下逆搭載となるため、LED 順序が逆になります。



1.4 接続構成

本装置の接続構成を図 1.6 に示します。



図 1.6 接続構成

- *1: 2 チャネルスイッチ (PS5CHSW) オプションを導入した場合の構成です。
- *2: チャネル接続機構と PS5000 シリーズは直接接続を推奨します。 LAN 経由で接続する場合は、運用開始前に印刷性能が十分かご確認ください。
- *3: UPS は周辺機器です。推奨する UPS は「付録 F 周辺機器(推奨)」(P.136) を参照してください。
- *4: 本装置を無停電電源装置 (UPS) に接続する場合は、運用管理端末が接続されているネットワークに接続してください。 また、UPS 専用のネットワークマネジメントカード (NMC) が必要です。UPS の設定はご使用の UPS の取扱説明書お よびネットワークマネジメントカードのユーザーズガイドを参照してください。
- *5: 運用管理端末はセキュリティが確保されたネットワークに設置し、外部からの攻撃リスクを回避してください。
- *6: 運用管理端末はプリンタのパネル機能も補っているため、PS5000シリーズ近傍に設置することを推奨します。

富士通メインフレームと PS5000 シリーズの設置場所を離す場合は、SCL5 を使用して富士通メインフレームと チャネル接続機構の接続距離を延長する構成を推奨します。



図 1.7 接続構成(メインフレームとプリンタ装置が離れている場合)

1.5 印刷機能

印刷機能について説明します。印刷機能には以下の種類があります。なお、本装置の印刷機能は PS5000 シリーズの BMC/ プリンタ接続機構 (PSD) 接続時の機能に準拠しています。詳細は各プリンタ装置の取扱説明書を参照してください。

- 文字セット管理
- フォームオーバレイ
- 複写修正
- 図形印刷
- イメージ印刷
- 文字修飾
- バーコード印刷

1.5.1 バーコード印刷

バーコード印刷では、以下に示す形式のバーコードが印刷できます。

- NW-7
- JAN (標準/短縮)
- CODE39
- Industrial 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- 物流商品コード
- Matrix 2 of 5
- UPC (バージョン A/E)
- EAN13
- カスタマバーコード
- •書留用バーコード(*1)
- GS1-128, GS1-128(料金代理収納用)(*2)
- QR コード (モデル 2)、マイクロ QR コード (*3)
 - *1: JEF(ラインプリンタモード)のみサポートしています。JEF/AP(ページプリンタモード)での書留用バーコード印 刷は非サポートです。
 - *2: JEF(ラインプリンタモード)で使用する場合は、それぞれ以下のオプションが必要です。
 - PS5600CL:600dpi 出力機構(PS5600C25)、拡張バーコード出力機構(PS5600C55)
 - PS5110BL:600dpi/2up 出力機構(PS5110B25)、拡張バーコード出力機構(PS5110B55)
 - *3: それぞれ以下のオプションが必要です。
 - PS5600CL:QR コード出力機構(PS5600C56)
 - PS5110BL:QRコード出力機構(PS5110B56)

注意

バーコード読取装置の読み取り仕様によっては、本装置で印刷した帳票の読み取り率が異なります。運用に先 立ち十分な事前確認を行ってください。

1.6 運用イメージ

起動と停止

本装置は、電源連動機能は有していません。本装置の起動/停止は手動で行います。 詳細については、「2.3 運用の手順」(P.37)を参照してください。

● 印刷操作

富士通メインフレームから印刷ジョブを起動すると、本装置を操作することなく事前に登録した印刷設定 (「5.1.4 印刷設定(一般設定)」(P.83) ~ 「5.1.7 印刷設定(JEF/AP 設定)」(P.92) 参照)で印刷を行うこと ができます。なお、あらかじめ登録しておいた用紙情報で印刷する場合は、印刷時に用紙情報の設定操作を 行い印刷してください(「5.1.3 用紙設定」(P.77) 参照)。

印刷中の用紙切れや異常発生時の対処

印刷中にプリンタ装置側で用紙切れや異常が発生した場合は、本装置を経由して富士通メインフレーム側に 状態が通知されます。プリンタ装置側で要因を取り除いたあと、富士通メインフレーム上でリカバリ操作を 実施できます。なお、プリンタ装置側で異常が発生したときは、プリンタ装置が切断されるため、Web-UI で プリンタ装置を接続する操作が必要になります(「4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53) 参照)。

2.1 設定項目の確認

従来 PS5000 シリーズのプリンタ装置(PS5600CK、PS5110BK)で行っていた運用方法から、本装置での操作 や設定に変更する項目や追加する項目を<u>表 2.1</u> に示します。

表 2.1 従来 PS5000 シリーズでの運用から変更/追加される項目

□:プリンタ装置で設定/利用しない項目

■:プリンタ装置で設定/利用する項目
 ●:本装置で設定/利用する項目

分類	操作/設定/表示項目		プリンタ装置	本装置	
電源操作	プリンタ装置の電源 ON / OFF			■ (*1)	
	本装置の電源(N ∕ OFF		• (*2)	
初期設定	運用管理端末の設置/設定				•
	コンビニ -EAN128 の設定				•
	用紙情報の 登録	従来装置からの引継ぎ(*3)			● (*4) (*5)
		新規登録			• (*5)
	用紙情報の削除/詳細				•
	レイアウト情報の登録/削除			■ (*6)	
	リカバリ方法の選択(ホスト/セルフ)			■ (*7)	
	ジャムセパレータ印刷の設定				
	JEF、JEF/AP	印刷開始制御			•
	一般設定	強制拡張解像度印刷			•
		チャネル設定 (ON Line/OFF Line、ChannelA/ChannelB 他)			•
	JEF 設定	印字幅設定			
		EAN128 目視文字位置			•
		第 2FPD の登録	従来装置からの引継ぎ(*3)		• (*4)
			新規登録(*8)		• (*4)
	JEF/AP 設定	EAN128 目視文字(•
	ネットワークアドレス設定				•
	論理プリンタ 設定	サポートサーバ		■ (*9)	
		ポート番号			● (*10)
	操作権限変更操作とパスワード変更操作				•
	Web-UI アクセス制限				•
	画面のキャリブレーション/スクリーンセーバ設定				
	日時設定			■ (*11)	•
	NTP による日時同期設定				•
	スイッチ配置変更設定				

分類	操作/設定/表示項目	プリンタ装置	本装置
運用中の操作/	用紙長の設定	■ (*12)	• (*13)
表示項目	用紙のオートロード		
	印刷確認ボタンの操作	■ (*14)	
	用紙の排出操作		
	富士通メインフレームの切り替え操作		•
	用紙情報の選択	■ (*15)	•
	レイアウト情報の選択		
	動作モードの選択	■ (*16)	•
	キャンセル/クリアプリント操作		•
	プリンタ装置の消耗品(状態表示と交換操作など)		
	データランプの表示		•
	リカバリランプの表示	■ (*17)	● (*17)
	印刷位置の調整(垂直、水平、オーバレイ)	■ (*18)	•
	印刷濃度 / プリセット値の設定		
	プリンタ装置の状態表示		• (*19)
	チャネル接続先(Ach / Bch)の表示		•
	スタート/ストップ/リセット操作		•
	テストプリント		
	媒体モードの設定(*20)		

- *1: PS5600C のみ富士通メインフレームから SCCI を経由して、リモート操作で電源 ON / OFF が可能です。 PS5110B はローカル操作の電源 ON / OFF となります。
- *2: LAN 経由のコマンド(Magic Packet®)を利用したリモート操作で電源 ON が可能です。電源 OFF は通常 Web-UI か ら行います。ローカル操作の電源 OFF は実施しないでください。
- *3: 従来 PS5000 シリーズのプリンタ装置または本装置からの移行時に設定した値を引き継ぐことができます。
- *4: 保守技術員(担当 CE)の作業です。
- *5: 印刷濃度の設定はできません。従来装置から用紙情報を引き継いだ場合は、引き継ぎ時の印刷濃度がグレーアウトで Web-UI に表示されます。
- *6: 面付数の「2-up」は非サポートのため設定しないでください。
- *7: セルフリカバリは非サポートのためホストリカバリを選択してください。
- *8: 新規に登録する場合は富士通メインフレームからの登録操作が必要です。
- *9: プリンタ装置の論理プリンタ1で、サポートサーバを「BSNPS」に設定してください。
- *10: プリンタ装置の論理プリンタ1でポート番号を「9313」から変更する場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してくだ さい(本装置の設定もプリンタと同じポート番号に変更する必要があります)。
- *11: PS5600Cの機能です。
- *12: PS5600C はオートロードパネル、PS5110B は用紙長レバーで設定します。
- *13: FCB 定義がないジョブを印刷する場合、デフォルト用紙長(初期値:「11 インチ」)の設定が必要です(「5.1.9 プリン タ設定」(P.94) 参照)。該当ジョブを印刷する際は、あらかじめ適用する用紙長を Web-UI(一般ユーザモード)で設 定してください。
- *14: PS5600Cの機能です。詳細はプリンタ装置の取扱説明書を参照してください。
- *15: プリンタ装置の用紙情報は、「DEFAULT」を選択したまま変更しないでください。
- *16: PS5600C は「CHANNEL MODE」が選択できますが、「NETWORK MODE」固定のまま変更しないでください。
- *17: プリンタ装置でリカバリが必要なエラーが発生した場合は、プリンタ装置のリカバリランプが点灯(主操作パネル)し ます。

本装置でリカバリが必要なエラーが発生した場合は、本装置のリカバリランプが点灯(Web-UI)します。

*18: 印刷時の微調整時に使用します(用紙のセット後に、微小に印字位置が変わる場合の調整など)。

*19: プリンタ装置の状態については、従来どおりプリンタ装置側で確認してください。Web-UI では、主な状態(「READY」、 「NOT READY」、「エラー」、および「リカバリ」)を確認することができます。 *20: PS5110B の機能です。

2.2 印刷運用の流れ

ここでは本装置を使用した印刷運用の流れについて説明します。 従来プリンタ装置で行っていたチャネル印刷に関する各種操作や設定などは、すべて Web-UI で行います。

備考

プリンタ装置は、常にネットワークモード設定での運用となります。 PS5600Cで誤ってチャネルモードにした場合は、ネットワークモードに戻してください。

Web-UIのパネルの説明および設定画面については、以下を参照してください。

- •「第3章 Web-UI の概要」(P.43)
- 「第4章 Web-UI 操作(メインパネル)」(P.47)
- 「第5章 Web-UI 操作(メニューパネル/コンテンツパネル)」(P.67)

2.2.1 運用開始前の準備と設定

- (1) 「運用管理端末の準備」
- (2) 「本装置の設定」
- (3) プリンタ装置の設定(「2.1 設定項目の確認」(P.33) を参照)

■ 運用管理端末の準備

Web-UI 操作は、運用管理端末の Web ブラウザから LAN 経由で行います。運用管理端末は、お客様ご自身で別 途ご用意いただく必要があります。運用管理端末の詳細は<u>「1.4 接続構成」(P.29)</u> および<u>「3.2 動作環境」(P.43)</u> を参照してください。

「手順▶▶▶ ────

- 運用管理端末を接続します。
 設置した運用管理端末を本装置の「LAN1(*1)」と通信できるネットワークに接続します。
- 2 本装置を電源 ON にします。 本装置のフロントパネルの電源ボタンを押してから、本装置の電源を投入します(「コントロールパネル のボタンと表示ランプ」(P.23) 参照)。
- 3 Web-UIのセキュリティに関する設定を行います。 運用管理端末から、Web-UI(ユーザ管理者モード)にログインします(<u>「3.4 ログイン」(P.44)</u>参照)。 ログインパスワードやアクセス制限の設定を行います(*2)(*3)。
 - *1: 本装置の LAN1 ポートは<u>「1.3.2 背面」(P.27)</u> を参照してください。

- *2: 一般ユーザモードおよびユーザ管理者モードにログインする際のパスワードを必要に応じて変更することが できます(<u>「5.2.8 パスワード変更」(P.120)</u>参照)。
- *3: Web-UI にアクセスできる IP アドレスを制限することができます(「5.2.3 アクセス制御」(P.109)参照)。

_____ ◀◀◀

本装置の設定

本装置の設定を Web-UI(一般ユーザモード)から行います。ユーザ管理者モードでログインしている場合は、 一般ユーザモードに遷移します(「5.2.9 一般ユーザモード」(P.122) 参照)。

手順 ▶▶▶ ─────

1 用紙情報の新規登録を行います(運用する場合)(<u>「5.1.3 用紙設定」(P.77)</u>参照)。

備考

- 従来プリンタ装置または本装置に設定した用紙情報を引き継ぐ場合は、事前(装置を撤去する前な ど)に装置からデータを抽出する必要があるため、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。
- 用紙情報の設定は本装置とプリンタ装置にあるため、プリンタ装置は必ず「000:DEFAULT」が 選択されていることを確認してから運用してください。
- 2 印刷に関する設定を行います。
- **2-1** 一般設定を行います(「5.1.4 印刷設定(一般設定)」(P.83) 参照)。
- **2-2** JEF モードに関する設定を行います(<u>「5.1.5 印刷設定(JEF 設定)」(P.85)</u>参照)。

備考

第 2FPD の運用(*1)を行う場合は、本項目で登録を行ってください。

- *1: 印刷に必要な文字パターンをあらかじめ本装置の第 2FPD に登録しておき、業務に必要な第 2FPD を 選択して運用することができます。
- **2-3** JEF/AP モードに関する設定を行います(「5.1.7 印刷設定(JEF/AP 設定)」(P.92) 参照)。
- **3** チャネル接続の設定を行います(<u>「5.1.8 チャネル設定」(P.93)</u>参照)。
- 4 デフォルト用紙長の設定を行います(「5.1.9 プリンタ設定」(P.94)参照)。
2.3 運用の手順

電源操作

(1)「電源 ON」

(2)「電源 OFF」

富士通メインフレームからの印刷

(1) 「富士通メインフレームからの印刷実行」

 \checkmark

V

- (2)「本装置の設定」
- (3)「プリンタ装置の印刷品質調整」

富士通メインフレーム印刷からオープンサーバ印刷への切り替え

- (1)「オープンサーバ印刷への切り替え準備」
- (2)「オープンサーバからの印刷」

オープンサーバ印刷から富士通メインフレーム印刷への切り替え 4

- (1)「富士通メインフレーム印刷への切り替え」
- (2)「富士通メインフレームからの印刷実行」

2.3.1 電源 ON

プリンタ装置および本装置を電源 ON にする手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶ -

1 プリンタ装置を電源 ON にします。

プリンタ装置の操作方法は、各プリンタ装置の取扱説明書を参照してください。

備考

PS5600C は SCCI 接続機構を搭載しているため、富士通メインフレームから SCCI 経由で電源 ON の指示を行うことができます。

- 本装置を電源 ON にします。
 本装置のフロントパネルの電源ボタンを押し、本装置を電源 ON にします(「コントロールパネルのボタ ンと表示ランプ」(P.23) 参照)。
- 3 プリンタ装置の準備を行います。 プリンタ装置起動後、印刷する用紙をセットし、スタート状態にします。
- 4 富士通メインフレーム側で接続および装置をオンラインにします。 なお、仮想計算機を利用している場合は、事前に本装置を接続しているチャネルをアタッチします。
- 5 本装置の準備を行います。 Web-UI で本装置が「READY」であることを確認します(*1)。 「READY」ではない場合、チャネル接続が ON Line(「5.1.8 チャネル設定」(P.93) 参照)であることを確認 し、「スタート」ボタンを押して本装置を「READY」にします(「「スタート」ボタン」(P.61) 参照)。 *1: オートスタート設定を「なし」に変更している場合は、「NOT READY」で起動する場合があります。この場合、
 - Web-UI でプリンタ接続 (<u>「4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53)</u>参照)し、チャネル接続が ON Line (<u>「5.1.8 チャネル設定」(P.93)</u>参照)であることを確認後、「スタート」ボタンで「READY」にします(<u>「スタート」ボタン」(P.61)</u>参照)。 オートスタート設定を変更する場合は、ユーザ管理者モードメニューで変更してください(「5.2.2 プリンタ設

オートスタート設定を変更する場合は、ユーザ管理者モートメニューで変更してくたさい(<u>15.2.2 ノリンダ設</u> 定<u>)(P.104)</u>参照)。

_____ ◀◀◀

備考

本装置および PS5110B は富士通メインフレームからの電源連動をサポートしていません。富士通メインフレームからの電源連動については以下のとおりです。

装置	電源連動
本装置	× (*1)
PS5600C	0
PS5110B	×

*1: 本装置と運用管理端末が別々の部屋に設置されている場合などに LAN 経由のコマンド(Magic Packet[®])を利用し てリモートでの電源 ON が可能です。また、電源 OFF は Web-UI から行うことができます。なお、ネットワーク機 器は Magic Packet に対応している必要があります。

2.3.2 電源 OFF

プリンタ装置および本装置を電源 OFF にする手順を以下に示します。本装置の操作は Web-UI (一般ユーザモード) で行います。

手順 ▶▶▶ ───

1 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします(「「ストップ」ボタン」 (P.63) 参照)。

備考

本装置を「NOT READY」にする場合は、ライタを操作してライタを停止させてください。ライタ操作 は各ライタのマニュアルを参照してください。

本装置を電源 OFF にします。
 Web-UIの「電源」ボタンを押して、電源 OFF にします(「「電源」ボタン」(P.65) 参照)。

備考

- 本装置およびそのほかの異常により、Web-UI にアクセスできない場合は、本装置のフロントパネル (電源ボタン)を操作して電源 OFF にします(「コントロールパネルのボタンと表示ランプ」(P.23) 参照)。
- ・未印刷ジョブが残った状態で「電源」ボタンを押した場合、ジョブが失われることを示すポップ アップ画面が表示されます(「「電源」ボタン」(P.65) 参照)。

プリンタ装置を電源 OFF にします。
 プリンタ装置が動作停止していることを確認し、電源 OFF にしてください。

備考

PS5600C は SCCI 接続機構を搭載しているため、富士通メインフレームから SCCI 経由で電源 OFF の 指示を行うことができます。

------ • • • •

2.3.3 富士通メインフレームからの印刷実行

通常の印刷については、従来のプリンタ装置と同様のオペレーションです。 ライタ操作は、各ライタのマニュアルを参照してください。

- ライタから印刷操作する前に、「プリンタ接続」操作が必要です。オートスタートありの場合は、プリンタ 接続は不要です。オートスタートなしの場合は、プリンタ接続を行います。
- すでにプリンタ接続や富士通メインフレームと接続している場合は、本操作は不要です。ライタ操作で印刷 を実行してください。

手順 ▶▶▶ ------

- 富士通メインフレーム側で接続および装置をオンラインにします。
 なお、仮想計算機を利用している場合は、事前に本装置を接続しているチャネルをアタッチします。
- 2 プリンタ装置の印刷位置の設定 本装置で用紙情報の運用を行う場合は、プリンタ装置側の印刷位置を初期値(垂直位置「4」、水平位置「05」、オーバレイ「08」)に設定してください。 本装置で用紙情報の運用を行わない場合(選択している用紙情報名が DEFAULT)は、プリンタ装置で用 紙に合わせた印刷位置を設定してください。 プリンタ装置の操作方法は、各プリンタ装置の取扱説明書を参照してください。
- 3 プリンタ装置をスタート状態にします。
- 4 本装置とプリンタ装置を接続します(「<u>4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53)</u>参照)。
- 5 本装置の印刷設定(<u>「5.1.2 印刷位置設定」(P.74)</u>参照)を確認します。
- **6** 本装置を「READY」にします。

_____ **<**

2.3.4 本装置の設定

Web-UI(一般ユーザモード)で以下の操作を実施します。なお、<u>表 2.1</u>を参照し、このほかにも本装置で設定 が必要な項目がある場合は、各設定を行ってください。

手順 ▶▶▶ ───

- **1** 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします(「「ストップ」ボタン」 (P.63) 参照)。
- 2 本装置の印刷位置設定(<u>「5.1.2 印刷位置設定」(P.74)</u>参照)を確認します。なお、用紙情報 の運用を行う場合は、使用する用紙情報(「5.1.3 用紙設定」(P.77)参照)を選択します。
- 3 第 2FPD の運用を行う場合は、印刷で使用する第 2FPD (<u>「5.1.6 印刷設定(第 2FPD 設定)</u>) (<u>P.86)</u>参照)を選択します。

4 「スタート」ボタンを押して、本装置を「READY」にします(「「スタート」ボタン」(P.61) 参照)。

2.3.5 プリンタ装置の印刷品質調整

印刷位置は本装置の Web-UI で設定した値が基準(選択した用紙情報の値を含む)となります。運用中の印字 調整は以下のようにプリンタ装置で行います。

- ・微小な印字調整はプリンタ装置の主操作パネルで実施します。
- 印刷濃度設定/調整はプリンタ装置の主操作パネルで実施します。本装置では設定不可です。

プリンタ装置の操作方法は、各プリンタ装置の取扱説明書を参照してください。

2.3.6 オープンサーバ印刷への切り替え準備

富士通メインフレーム印刷からオープンサーバ印刷へ切り替える際の手順を示します。本装置の操作は Web-UI (一般ユーザモード)で行います。

「手順 ▶▶▶ ─────

- 富士通メインフレームからの印刷を停止します。
 ライタ停止操作は、各ライタのマニュアルを参照してください。
- 2 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします(「「ストップ」ボタン」 (P.63) 参照)。

備考

本装置を「NOT READY」にする場合は、ライタを操作してライタを停止させてください。ライタ操作 は各ライタのマニュアルを参照してください。

3 用紙を排出します。

プリンタ装置で印刷済みの未排出用紙がある場合は、用紙を排出します。 プリンタ装置の操作方法は、各プリンタ装置の取扱説明書を参照してください。

4 プリンタ装置を切断します(「<u>4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53)</u>参照)。

注意

プリンタ装置を切断せずにオープンサーバから印刷すると、プリンタ装置が使用中であることを示す メッセージが表示されます。必ずプリンタ装置を切断してください。

_____ **4 4**

- 444

2.3.7 オープンサーバからの印刷

本装置を経由せず、オープンサーバから印刷する場合の手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶ ────

- 1 プリンタ装置の準備を行います。
- **1-1** オープンサーバから印刷するため、FNP タブの設定変更を行います。
- 1-2 印刷する用紙をセットし、用紙情報や印刷位置調整などを行います。
- **2** オープンサーバからプリンタ装置に印刷します。

2.3.8 富士通メインフレーム印刷への切り替え

オープンサーバ印刷から富士通メインフレーム印刷へ切り替える手順を以下に示します。本装置の操作は Web-UI(一般ユーザモード)で行います。

手順 ▶▶▶ ─────

- 1 オープンサーバからの印刷を停止します。
- 2 用紙を排出します。 プリンタ装置で印刷済みの未排出用紙がある場合は、用紙を排出します。 プリンタ装置の操作方法は、各プリンタ装置の取扱説明書を参照してください。
- 3 プリンタ装置の印刷準備をします。 印刷する用紙をプリンタ装置でオートロードし、印刷位置を設定してからスタート状態にします。
- 4 本装置で印刷設定をします。
 使用する用紙情報(<u>「5.1.3 用紙設定」(P.77)</u>参照)または第 2FPD(<u>「5.1.6 印刷設定(第 2FPD 設定)」</u> (<u>P.86)</u>参照)を選択します。
- 5 本装置とプリンタ装置を接続します(<u>「4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53)</u>参照)。
- 6 本装置の印刷設定(<u>「5.1.2 印刷位置設定」(P.74)</u>参照)を確認します。
- **7** 本装置を「READY」にします(「「スタート」ボタン」(P.61) 参照)。

- 44

3.1 Web-UIの操作画面

Web-UIは、本装置の状態表示と状態遷移、設定を行うためのユーザインターフェースです。 Web-UIは、運用管理端末から表示します。運用管理端末の接続については、「2.2.1 運用開始前の準備と設定」 (P.35) を参照してください。

				-107701-
READY			P55600C	PS5600C5000000 E01V01L01
			(2775798年) (プリ57798年)	▲ 000000000000000000000000000000000000
チャネル自殺機制	スタート ストップ) Utyr)	電源)
一般ユーザモード	設定値一覧	READY		
	田間位活动定 重直位第	4	オーバルイ	08
	水平位置	05	-	-
的局价测过定	ABREAGE	1.00		
用职政定	現在選択中の用紙番号	000	用紙備報名	DEFAULT
	印刷設定:一般	de soni	11 - Children - Childr	
in many of	印刷開始制御	Fモード(標準)	-	+
于世不儿腹定	印刷設定:IFF			
プリンタ頃走	印字幅設定	16.5インチ	現在選択中の第2FPD番号	101
	-	-	ラベル名	ノーデッキ
データ操作	チャネル設定			
	CHC機器アドレス	10	÷	-
ユーザ管理者モード	チャネル接続	ON Line	チャネル接続先	A Channel
メンデオンス管理者モート	プリンタ設定			
and a state of the	デフォルト用紙長	11.0インチ	+	-

図 3.1 Web-UI

3.2 動作環境

本装置の Web-UI を表示する運用管理端末の動作環境を以下に示します。

なお、運用管理端末は DVD-ROM ドライブが搭載された端末(*1)とし、PS5000 シリーズ近傍に設置することを推奨します。

*1: 保守技術員用の PC が持ち込めない場合に本装置のファームウェアアップデート作業などで使用する場合があります。

OS (*1)	ブラウザ	解像度と拡大レベル
Windows 8.1	Internet Explorer 11	1280×1024以上 100%推奨
Windows 10	Internet Explorer 11, Microsoft Edge	1280×1024以上 100%推奨

表 3.1 Web-UI の動作環境

*1: 仮想化環境上にインストールしている場合は、Web-UIの動作保証はできません。

3.3 注意事項

- Web-UI 操作中に、ブラウザのボタン(「戻る」、「再読み込み」、および「閉じる」)を操作しないでください。これらのボタンを使用すると、予期しない影響を受けるおそれがあります。操作してしまった場合は、 ブラウザのすべての画面を閉じてから、Web-UI に再接続してください。
- Web-UI を開いているときに休止状態やシステムスタンバイにならないようにしてください。休止状態また はシステムスタンバイ解除後の Web-UI の動作は保証いたしません。休止状態またはシステムスタンバイに なった場合は、解除したあとに一度ブラウザのすべての画面を閉じて Web-UI に再接続してください。
- Web-UI 操作中に通信エラーのエラーダイアログが表示された場合は、運用管理端末または保守端末と本装 置間のネットワーク状態を確認してから一度ブラウザのすべての画面を閉じて、Web-UI に再接続してくだ さい。

エラー	
設定値の取得に失敗しました。(通信	ミエラー)
	閉じる)

図 3.2 通信エラーのエラーダイアログ例

3.4 ログイン

Web-UI の操作を始めるときは、運用管理端末の Web ブラウザを使用して本装置に接続し、ログインする必要 があります。

3.4.1 アクセス手順

本装置の Web-UI にアクセスする手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶ ──

運用管理端末の Web ブラウザで、本装置の Web-UI の URL を指定します。

http://[IPアドレス]/webui

例:本装置の IP アドレスが 169.254.80.1 の場合

http://169.254.80.1/webui

注意

- [IP アドレス] は、<u>「5.2.1 ネットワーク設定」(P.102)</u>の「Web-UI 接続ポート設定」に設定した IP アドレスを指定します。
- http://[IP アドレス]を指定すると HTTP 接続の「404 エラー」が発生します。

2 ログイン画面が表示されるので、ユーザモードを選択、パスワードを入力してログインします。

ログイン	
ユーザ:	-般ユーザ ▼
パスワード:	
	OK) キャンセル)

• ユーザモード

操作する用途に応じて以下のいずれかのユーザモードを選択します(*1)。

- 一般ユーザ
- ユーザ管理者
- メンテナンス管理者
- パスワード 選択したユーザのパスワードを入力します(*2)。

*1: 各ユーザモードの詳細については「3.4.2 ユーザモードと権限」(P.45)を参照してください。

*2: パスワードの詳細については<u>「3.4.3 ユーザモードのパスワード」(P.46)</u>を参照してください。

3 「OK」ボタンを押します。 正しいパスワードを入力した場合、ユーザで選択されたユーザモードで Web-UI が表示されます。

備考

Web-UI を複数ブラウザから同時に使用することはできません。ほかのユーザが Web-UI を使用してい る場合は「他ユーザ操作中」を表示し、操作することはできません(「ほかのユーザが使用中の場合の <u>表示」(P.68)</u>参照)。

ただし、同一 PC 上かつ同一ブラウザの場合は、ほかのユーザが Web-UI を利用していても、あとから ログインしたユーザが操作できます。

_____ **<** < <

3.4.2 ユーザモードと権限

Web-UI のユーザモードとアクセス制限を以下に示します。

ユーザモード	内容
一般ユーザモード	本装置を印刷運用するユーザ用のモードです。主に印刷に関する設定や操作を行うこと ができます。
ユーザ管理者モード	本装置を管理するユーザ用のモードです。主に運用管理端末に関する設定などの操作を 行うことができます。
メンテナンス管理者モード	本装置をメンテナンスする保守技術員(担当CE)向けのモードです。

表 3.2 ユーザモードとアクセス制限

3.4.3 ユーザモードのパスワード

Web-UI のユーザモードと、各ユーザモードのパスワードについて、初期設定と変更の可否を表3.3に示します。

表 3.3 ユーザモードと初期パスワー

ユーザモード	初期パスワード	変更可否
一般ユーザモード	なし	可
ユーザ管理者モード	PRINTERADMIN	可

3.5 Web-UIの画面構成

Web-UIの画面は、大きく3つの領域(パネル)とポップアップ画面で構成されます。



図 3.3 Web-UIの画面構成

表 3.4 画面構成

番号	構成要素	設定項目
(1)	メインパネル	常に表示される領域で、本装置の状態と主な操作ボタンが表示されます。
(2)	メニューパネル	現在のユーザモードとメニューで構成されます。選択されたユーザモードのメ ニューが表示されます。
(3)	コンテンツパネル	選択されたメニューに応じ、設定項目/表示、または本装置の操作のためのコンテ ンツが表示されます。
(4)	ポップアップ画面	ユーザ操作の確認ダイアログとエラーダイアログが表示されます。ダイアログ表示 中はWeb-UIの操作はできません。

第4章 Web-UI 操作(メインパネル)

本装置のWeb-UIで常時表示される画面で、本装置の状態表示と主な操作を行うことができます。 各エリアについて以下に示します。



図 4.1 メインパネルの構成

表 4.1 メインパネルの部品一覧

番号	エリア名	備考
(1)	状態コード表示エリア	<u>「4.1 状態コード表示エリア」(P.48)</u> 参照
(2)	装置状態表示エリア	<u>「4.2 装置状態表示エリア」(P.48)</u> 参照
(3)	エラーコード/データ処理中表示エリア	<u>「4.3 エラーコード/データ処理中表示エリア」(P.49)</u> 参照
(4)	メッセージエリア	<u>「4.4 メッセージエリア」(P.50)</u> 参照
(5)	インフォメーション通知エリア	<u>「4.5 インフォメーション通知エリア」(P.51)</u> 参照
(6)	プリンタ情報表示・操作エリア	<u>「4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53)</u> 参照
(7)	装置情報表示エリア	<u>「4.7 装置情報表示エリア」(P.58)</u> 参照
(8)	接続チャネル情報表示エリア	<u>「4.8 接続チャネル情報表示エリア」(P.59)</u> 参照
(9)	データ/リカバリランプ表示エリア	<u>「4.9 データ/リカバリランプ表示エリア」(P.60)</u> 参照
(10)	装置操作ボタンエリア	<u>「4.10 装置操作ボタンエリア」(P.61)</u> 参照
(11)	「ログアウト」ボタン	<u>「4.11 「ログアウト」ボタンエリア」(P.66)</u> 参照

4.1 状態コード表示エリア

装置状態表示エリアの装置状態に応じた状態コードが表示されます。

- 初期化中、READY、メンテナンスの場合 何も表示しません(空白)。
- NOT READY の場合
 「00」を表示します。
- エラーの場合
 エラー「XX」~「XX」を表示します。エラーの内容は、「第6章トラブルシューティング」(P.123) してください。

4.2 装置状態表示エリア

本装置の状態が表示されます。

装置状態	表示色	意味
初期化中	青	本装置が初期化中(起動中)であることを示します。 初期化処理の完了後に、「READY」状態に遷移します。初期化処理が失敗した場 合は、エラーに遷移します。
NOT READY	黄	本装置は正常起動していますが、印刷はできない状態であることを示します。 本装置のメニューパネルおよびコンテンツパネルを操作する場合は、いったん 「NOT READY」状態にする必要があります。 本状態には、以下のいずれかの操作により遷移します。 •「ストップ」ボタンを押す • 復旧可能なエラー状態から「リセット」ボタンを押す
READY	緑	本装置が正常起動しており、運用可能な状態であることを示します。印刷中など の正常動作中も本状態に含まれます。 本状態の場合、メッセージエリアは空白となります。

表 4.2装置状態表示エリア

装置状態	表示色	意味
IƏ-	赤	本装置に異常が発生し、運用が停止されている状態です。エラー状態は以下の2 種類に分類されます。分類の判定はメインパネルに表示される状態コードおよび メッセージの内容で判断することができます。 ・ 復旧不可能なエラー 運用が継続できない異常が発生しており、電源ボタン(電源 OFF)のみ押す ことができます。自動でサポートログ収集を行い、サポートログ収集完了画 面が表示されます。本装置をシャットダウン後、保守技術員(担当 CE)に連 絡してください。 サポートログ収集 サポートログ収集に成功しました。 シャットダウンします。 「チャネル提続機構をシャットダウン後、再取動する」 で 、 を 復旧可能なエラー 「リセット」ボタンでエラー状態が回復した場合は、ユーザ判断で、運用継続 可能です。繰り返しエラーが発生した場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡 してください。
メンテナンス	オレンジ	本装置がメンテナンス管理者モードであることを示します。メンテナンス管理者 モードでログインした場合に本状態に遷移します。メンテナンス管理者モードは 保守技術員(担当CE)向けのモードです。

4.3 エラーコード/データ処理中表示エリア

エラーが発生している場合はエラーコードが表示され、処理中のデータがある場合はデータ処理中が表示されま す。

■ 装置状態表示エリアの装置状態がエラーの場合

エラーコードが表示されます。エラーコードの内容は、「<u>第6章トラブルシューティング」(P.123)</u>の<u>表6.2</u>を 参照してください。



図 4.2 エラーコード表示

■ プリンタ装置へのデータ送信処理を開始した場合

データ形式とデータ処理中が表示されます。データ形式は、JEF(ラインプリンタモード)の場合は「LP」、JEF/ AP(ページプリンタモード)の場合は「PP」が表示されます。データ処理中の表示は、以下の状態に遷移する と消えます。

- 本装置が READY 以外の装置状態に遷移した
- すべてのデータを送信した
- データがキャンセルされた

なお、印刷を中断した場合は、ライタ停止時に、本装置内のすべてのデータを送信できず、データ処理中が表示 されたままになることがあります。



図 4.3 データ処理中表示

4.4 メッセージエリア

エラーが発生している場合はエラーメッセージが表示されます。JOB 名表示が「あり」の設定で JOB 名が指定 された場合は、JOB 名が表示されます。JOB 名表示の初期値は「なし」です。

■ 装置状態表示エリアの装置状態がエラーの場合

エラーメッセージを表示します。エラーメッセージの内容は、「<u>第6章トラブルシューティング」(P.123)</u>を参照してください。



図 4.4 エラーメッセージ表示

■ JOB 名が指定されたジョブがある場合

富士通メインフレームから JOB 名が指定された場合は、メッセージエリアの最終行に JOB 名が表示されます。 プリンタ装置で印刷を開始したタイミングで JOB 名が切り替わります。

備考

JOB 名表示の設定を「あり」に変更したい場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。



図 4.5 JOB 名表示

4.5 インフォメーション通知エリア

補足情報が表示されます。装置状態表示エリアに表示できない情報を補助的に表示するための領域です。

		P\$5600C	PS5600C50000000
READY		スタート	EOIVOILOI
		「リンタ補助」	A 000000000000000000000000000000000000
	i お知らせがあります 開く) プリンタ効素)	データ リカバリ

図 4.6 インフォメーション通知

	1		
項目	説明		
メッセージアイコン	表示する補助情報のレベルがアイコンで表示されます。 アイコン 説明		
+ メッセージ領域			
		通知するインフォメーションがない場合にアイコンおよびメッセージ領 域は表示しません。	
	—i—	お知らせがある場合に表示します。 メッセージ領域には「お知らせがあります」と表示します。	
開く	発生している情報の詳細を表示したポップアップ画面が開きます。 通知するインフォメーションがない場合は無効化され、押すことができません。 詳細は図 <u>4.7</u> を参照してください。		

表 4.3 メッセージアイコンとメッセージ表示

インフォメーション通知エリアで「開く」ボタンを押すと、インフォメーションのポップアップ画面が表示され ます。

インフォメーション	
i 2016/03/31 14:01 第2FPDがホストによって変更されました。	
▲●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	
	(閉じる)

図 4.7 インフォメーションのポップアップ画面

項目	意味		
インフォメーション表示領域	通知するインフォメーションを以下のとおりに表示します。		
	メッセージ 通知する情報にあったアイコンを表示します。		こあったアイコンを表示します。
	7117	アイコン	説明
		—i—	お知らせを通知する場合に表示します。
日時状態が発生した日時です。表示形式は YYYY/MM/DD HH:MM 例:2020年7月1日午後1時12分 2020/7/113:12		と日時です。表示形式は以下のとおりです。 HH:MM 7 月 1 日午後 1 時 12 分 34 秒の場合 12	
	メッセージ	発生した状態を表示します。	
閉じる	本画面を閉じます。 「本画面を閉じる際に、表示されているインフォメーションを削除する。」をチェックし た状態で「閉じる」ボタンを押すと、原因が解消された場合、表示されていたインフォ メーションは削除されます。		

4.6 プリンタ情報表示・操作エリア

以下が表示されます。

- •「プリンタ接続」ボタンまたは「プリンタ切断」ボタン
- 本装置を接続しているプリンタ装置のプリンタ名
- 本装置を接続しているプリンタ装置の状態

■ プリンタ接続

本装置とプリンタ装置を接続する場合に、プリンタ情報表示・操作エリアにある「プリンタ接続」ボタンを押します。

「プリンタ接続」ボタンは本装置状態が「NOT READY」、かつプリンタ装置を接続していない場合に有効となります。

なお、プリンタ接続すると本装置がプリンタ装置を占有します。したがって、ほかのネットワーク印刷と併用する場合は、「プリンタ切断」ボタンを押して占有を解除してください。



「プリンタ接続」ボタン

図 4.8 「プリンタ接続」ボタン

プリンタ情報表示・操作エリアで「プリンタ接続」ボタンを押すと、プリンタ接続確認画面が表示されます。



図 4.9 プリンタ接続確認画面

 項目
 説明

 はい
 本画面を閉じて、プリンタ接続処理を行います。

 プリンタ接続処理中は、プリンタ接続中を示す画面を表示します。

 ブリンタ接続中

 ブリンタ接続処理を行わずに本画面を閉じます。

表 4.5 プリンタ接続確認画面の操作

プリンタ装置がオープンサーバからの印刷中の場合、プリンタ接続失敗画面が表示されます。 なお、接続処理の自動リトライは行いませんので、オープンサーバからの印刷が停止後にプリンタ接続を再実施 してください。

17-	
プリンタ接続に失敗しました。 他で使用中です。	
	閉じる

図 4.10 プリンタ接続失敗画面

■ プリンタ切断

本装置からプリンタ装置を切断する場合に、プリンタ情報表示・操作エリアにある「プリンタ切断」ボタンを押します。

「プリンタ切断」ボタンは装置状態が「NOT READY」、かつプリンタ装置を接続している場合に有効となります。



「プリンタ切断」ボタン

図 4.11 「プリンタ切断」ボタン

プリンタ情報表示・操作エリアで「プリンタ切断」ボタンを押すと、プリンタ切断確認画面が表示されます。

プリンタ切断確認	
プリンタを切断してよろしいで	すか?
	(はい) いいえ)

図 4.12 プリンタ切断確認画面

データランプが点灯している場合は、以下のプリンタ切断確認画面が表示されます。

プリンタ切断確認	
プリンタを切断します。 未印刷データは消去されま	す。よろしいですか?
	はい いいえ

図 4.13 プリンタ切断確認画面(データランプ点灯)

表 4.6 プリンタ切断確認画面の操作

項目	説明		
はい	本画面を閉じて、プリンタ切断処理を行います。 プリンタ切断処理中は、プリンタ切断中を示す画面を表示します。		
		プリンタ切断中	
	プリンタ切断中		
いいえ	プリンタ切断処理を行わずに本画面を閉じます。		

■ プリンタ名

プリンタ情報表示・操作エリアに、本装置と接続するプリンタ名が表示されます。 表示されるプリンタ名は、ユーザ管理者モードメニューの<u>「5.2.2 プリンタ設定」(P.104)</u>の「プリンタ装置名」 が表示されます。



図 4.14 プリンタ名

■ プリンタ状態

プリンタ情報表示・操作エリアには、本装置と接続しているプリンタ装置の状態が表示されます。 表 4.7 に、状態の詳細を示します。



図 4.15 プリンタ状態

表 4.7 プリンタ状態一覧

プリンタ状態(*1)	説明
スタート	接続されているプリンタ装置が「スタート」であることを示します。 本状態の場合、ホストから印刷できます。
ストップ	接続されているプリンタ装置が「ストップ」であることを示します。 本状態の場合、ホストから印刷できません。印刷する場合は、プリンタ装置をスター ト状態にしてください。
ER20-01	接続されているプリンタ装置が「リカバリ要エラー」状態であることを示します。 プリンタ装置で発生しているエラーのコードを示します。 本状態の場合、ホストから印刷できません。印刷する場合は、プリンタ装置の状態を 確認してください。
ER89-00	接続されているプリンタ装置が「エラー」状態であることを示します。 プリンタ装置で発生しているエラーのコードを示します。 本状態の場合、ホストから印刷できません。印刷する場合は、プリンタ装置の状態を 確認してください。
接続されていません	プリンタ装置が接続されていない状態を示します(*2)。 本状態の場合、ホストから印刷できません。印刷する場合は、「プリンタ接続」ボタ ンを押してプリンタ装置を接続してください。

*1: プリンタ状態の「ER20-01」と「ER89-00」は表示例です。

*2: 本装置で運用が継続できないエラーが発生した場合もプリンタ装置との接続が切断されるため、「接続されていません」 と表示されます。

4.7 装置情報表示エリア

装置名、ファームウェア版数、および日時が表示されます。

■ 装置名

装置情報表示エリアに本装置の装置名が表示されます。 ここで表示される装置名は、メンテナンス管理者モードメニューで設定します。



図 4.16 装置名

■ ファームウェア版数表示

装置情報表示エリアに本装置のファームウェア版数を表示します。



図 4.17 ファームウェア版数表示

■ 日時表示

装置情報表示エリアに本装置の現在日時を表示します。 ここで表示される日時は、ユーザ管理者モードメニュー<u>「5.2.4 日時設定」(P.110)</u>で設定します。また、ユー ザ管理者モードメニューの<u>「5.2.5 表示設定」(P.112)</u>の「日時表示」の設定により、日時表示の有無を選択で きます。



図 4.18 日時表示

4.8 接続チャネル情報表示エリア

接続チャネル情報表示エリアには、本装置と接続しているホストのチャネル接続先と接続している接続先情報が 表示されます。



図 4.19 ホスト接続情報

表 4.8 ホスト接続情報表示

表示項目	意味
チャネル接続先	本装置と接続しているホストの接続方向(AまたはB)を表示します。
	接続していない場合は、何も表示しません。
	接続方向は、一般ユーザモードメニューの <u>「5.1.8 チャネル設定」(P.93)</u> で設定できます。
接続先情報	本装置と接続している接続先情報を表示します。 接続していない場合は、「アタッチされていません」と表示します。 接続先情報は、ユーザ管理者モードメニューの <u>「5.2.5 表示設定」(P.112)</u> の接続先情報表 示設定を参照してください

4.9 データ/リカバリランプ表示エリア

データ/リカバリランプ表示エリアには、本装置内およびプリンタ装置内のデータの状態が、データランプとリカバリランプの点灯・点滅状態で表示されます。 表 4.9 に、表示状態とデータ状態の意味を示します。

ランプ	表示色	状態	意味
データ	データ	消灯	READY状態(印刷待ち/印刷中) NOT READY状態で本装置内、プリンタ装置内のいずれにも印刷 データはありません。
	データ	点灯	NOT READY状態で本装置内、またはプリンタ装置内に印刷データ があります。 NOT READY状態で本装置内に未完成ページのデータがあります。
リカバリ	リカバリ	消灯	本装置内にリカバリデータはありません。
	リカバリ	点灯	本装置内にリカバリデータがあります(エラー発生により、印刷が 完了していない場合)(*1)。

表 4.9 データランプ、リカバリランプの表示状態と意味

*1: リカバリランプが点灯している場合、リカバリデータ(リカバリ操作が必要なデータ)があります。 正常に印刷するためには、富士通メインフレーム側(ホストリカバリ)のライタ操作などでリカバリ操作を行ってくだ さい。

4.10 装置操作ボタンエリア

本装置を操作するボタンが表示されます。装置状態によって有効または無効になる操作ボタンがあります。

壮罢仲能	装置操作ボタンの有効無効			
衣胆扒怒	スタート	ストップ	リセット	電源
初期化中	×	×	×	×
NOT READY	0	×	×	0
READY	×	0	×	0
エラー	×	×	○ (*1)	0

表 4.10 装置状態の表示と機能

○:有効(操作可)、×:無効(操作不可)

*1: 復旧不可能なエラーの場合、「リセット」ボタンは無効となり操作することができません。

■「スタート」ボタン

本装置を印刷が可能な状態(*1)である「READY」に遷移させる場合は、「スタート」ボタンを押します。 「スタート」ボタンは本装置の状態が「NOT READY」の場合に有効となります。 ただし、「スタート」ボタンは以下の状態の時には操作できません(無効になる)。

- チャネル接続先で選択されているチャネルが無効なとき(「5.1.8 チャネル設定」(P.93) 参照)
- プリンタ接続が切断されているとき(「4.6 プリンタ情報表示・操作エリア」(P.53) 参照)



図 4.20 「スタート」 ボタン

「スタート」ボタンを押すと、スタート処理中(富士通メインフレームと通信中)の画面が表示され、メインパネルは図 4.22 の状態となります(*2)。

情報	
スタート処理中です。	
しばらくお待ちください。	
977777777	///////////////////////////////////////
	中止)

図 4.21 富士通メインフレームと通信中画面

「中止」ボタンを押すと、スタート処理を中止し、装置の状態は「NOT READY」のままとなります。

富士通メインフレームと通信中に富士通メインフレームから切断される場合があります。この場合、本装置に 「ER80-A0」が表示されるため、「リセット」ボタンを押して富士通メインフレームとの接続状態を確認してくだ さい。チャネル接続は「OFF Line」になります。

また、「中止」ボタンを押すタイミングにより、スタート処理を中止できず、「READY」になる場合があります。



図 4.22 READY 状態のメインパネル

- *1: 印刷が可能な状態とは、富士通メインフレームから印刷データを受信し、プリンタ装置に送信することが可能な状態を示します。
- *2: 「スタート」ボタンを押しても、期待する状態にならない場合は、状態別の確認作業を実施した上で、必要に応じて保 守技術員(担当 CE)に連絡してください。

備考

【印刷時のポイント】 印刷を行う場合、以下の状態になっていることを確認してください。 •本装置が「READY」、プリンタ装置が印刷可能な状態(「スタート」)になっていること。

■「ストップ」ボタン

印刷データのクリアプリント/キャンセルや印刷設定値の変更、本装置の電源 OFF など、いったん「NOT READY」 に遷移させる場合に、「ストップ」ボタンを押します。 「ストップ」ボタンは、本装置の状態が「READY」の場合に有効となります。 データ処理中の場合は、以下の手順で実施してください。

手順 ▶▶▶ ────

1 プリンタ装置の主操作パネルで「ストップ」ボタンを押して、プリンタ装置を停止させます。

2 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を「NOT READY」状態にします。

注意

プリンタ装置を停止せずデータ処理中に Web-UI で「ストップ」ボタンを押した場合、重複印刷などが 発生する場合があります。本装置が「NOT READY」の場合、富士通メインフレームからの印刷データ は受信せず、エラーのセンス情報を返します。



図 4.23 「ストップ」 ボタン

「ストップ」ボタンを押すと、ストップ処理中の画面が表示されます。

情報					
ストッ しばら	プ処理中です。 くお待ちくだる	561.			
	/////	7777	777	//////	

図 4.24 ストップ処理中画面



図 4.25 NOT READY 状態のメインパネル

■「リセット」ボタン

本装置でエラーが発生した際に、本装置のエラー状態を解除するときは「リセット」ボタンを押します。 また、プリンタ装置でエラーが発生した場合は、プリンタ装置側でリセットしてください。 なお、「リセット」ボタンは、エラー状態から復旧できるエラーの場合に有効となります。 「リセット」ボタンを押すことにより、すべての復旧可能なエラーが復旧できた場合に「NOT READY」に遷移し ます(*1)。

0 ^	19-	◇FPD業常◇ 第2FPDを確認してください。 000002030405	P\$5600C	ログアウト) P55600C50000000 E01V01L01
ðΑ	ER8A-52	083		A 000000000000000000000000000000000000
チャネル	接联機構	(29-F) (2Fy7)	リセット	

図 4.26 リセット可能なエラー状態

*1: 「リセット」ボタンは 1 つのエラーに対して復旧処理を行うため、エラー要因が複数の場合、エラー要因の回数だけ 「リセット」ボタンを押す必要があります。

「リセット」ボタンを押すと、リセット処理中の画面が表示されます。

リセット処理中です。	
しばらくお待ちください。	

図 4.27 リセット処理中画面

■「電源」ボタン

本装置を OFF する際に「電源」ボタンを押します。「電源」ボタンは、初期化中を除くすべてのモードで操作す ることができます。

「電源」ボタンを押したあとは、シャットダウンを確認するためのポップアップ画面が表示されます。表示する ポップアップ画面については、<u>表 4.11</u>を参照してください。

データ	確認のポップアップ画面
データなし	「シャットダウン後、再起動する」をチェックして「はい」ボタンを押すと、シャットダウン後 に本装置を再起動します。
	シャットダウンの確認
	チャネル接続機構をシャットダウンしてよろしいですか?
	「」シャットダウン後、再起動する
	(tu) uuz
データあり	「シャットダウン後、再起動する」をチェックして「はい」ボタンを押すと、シャットダウン後 に本装置を再起動します。
	シャットダウンの確認
	本装置内にデータがあります。 シャットダウンするとデータが破棄されます。 チャネル接続機構をシャットダウンしてよろしいですか?
	ロロシャットダウン後、再起動する
	(tu) (uuz)

表 4.11 「電源」ボタンを押したときのポップアップ画面

4.11 「ログアウト」ボタンエリア

本装置の Web-UI からログアウトするにはメインパネルの「ログアウト」ボタンを押します。

Web ブラウザの閉じるボタン、ファイルメニューの終了からの Web-UI の終了は実施しないでください(本装置シャットダウン後のブラウザを閉じる操作以外)。



図 4.28 「ログアウト」ボタンエリア

第5章 Web-UI 操作 (メニューパネル/コンテンツパネル)

メニューパネルで選択したメニューの項目がコンテンツパネルに表示されます。

メニューパネル、コンテンツパネルを操作するときは、メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にして、富士通メインフレームからのデータ受信を停止してから操作してください。



図 5.1 メニューパネルとコンテンツパネル

■ ほかのユーザが使用中の場合の表示

以下のいずれかの場合は、メニューパネルのユーザモード表示領域が「他ユーザ操作中」の表示になります。

- すでにほかのユーザがログインしている状態でログインした。
- ログインしている状態で、あとから権限の高いユーザがログインした(*1)。
- *1: 権限の低いユーザが再度作業したい場合は、権限の高いユーザが作業を終了し、ログアウトしたのを確認後に再ロ グインする必要があります。



図 5.2 ユーザモード表示領域

表 5.1 ユーザモード表示領域

ユーザモード	通常時	ほかのユーザが使用中	権限レベル
一般ユーザモード	一般ユーザモード	他ユーザ操作中	低
ユーザ管理者モード	ユーザ管理者モード	他ユーザ操作中	中
メンテナンス管理者 モード	メンテナンス管理者モード	他ユーザ操作中	高

■ 選択可能なメニュー

本装置の状態で、選択できるメニューが異なります。詳細を、表5.2に示します。

表 5.	2	装置状態と選択可能なメニュー
200	-	

READY	NOT READY	エラー
すべてのメニューが選択不可	すべてのメニューが選択可	以下のメニューのみ選択可 • 印刷設定(*1) • 一般ユーザモード(*2) • メンテナンス管理者モード(*3)

*1: 一般ユーザモードで第 2FPD 関連のエラー(ER85-54、ER8A-52)が発生した場合に選択可能です。エラーの対処方法 は、「<u>第6章トラブルシューティング」(P.123)</u>を参照してください。

*2: ユーザ管理者モードの場合に選択可能です。

*3: 保守技術員(担当 CE)向けのモードです。

■ 設定情報入力時のエラー表示

コンテンツパネルまたはポップアップ画面の設定で、範囲外の値を入力して「適用」ボタンを押した場合、入力 値エラーが表示されます。表示された使用可能文字を参考に再入力してください。

入力値エラー	the set of the set of the
垂直位置 ・使用可能文字:数字、a~f、A~	ŕF
	閉じる

図 5.3 設定情報入力時のエラー表示例

設定未適用時の警告表示

「適用」ボタンのあるメニューでは、「適用」ボタンを押さずに他のメニューへの移動した場合に警告画面が表示 されます。「スタート」ボタンを押した場合や「電源」ボタンを押した場合は確認画面が表示されます。設定変 更中に装置にエラーが発生した場合、変更中の設定値は破棄されます。

警告	
メニューを操作すると よろしいですか?	と変更中の設定値は破棄されます。
	(はい) いいえ)

図 5.4 設定未適用時の警告画面

確認	
変更中の設定値は破棄されます。 よろしいですか?	
	はいいえ

図 5.5 設定未適用時の確認画面

■ 各ユーザモードのメニュー一覧

各ユーザモードで操作できるメニューを<u>表 5.3</u>に示します。

表 5.3 メニューパネル



備考

「メンテナンス管理者モード」は、保守技術員(担当 CE)向けのモードです。

5.1 一般ユーザモードメニュー

本装置を使用する一般ユーザ用のモードで、主に以下の操作を行うことができます。

- 印刷に関する設定表示/変更
- 印刷データのクリアプリント/キャンセル

各設定項目について以下に示します。

メニュー	項目		
設定値一覧	一般ユーザモードの設定内容を表示		「5.1.1 設定値一覧」(P.73) 参照
印刷位置設定	垂直位置		「5.1.2 印刷位置設定」(P.74) 参照
	水平位置		
	オーバレイ		
用紙設定	選択中の用約	氏情報	「 <u>5.1.3 用紙設定」(P.77)</u> 参照
	用紙情報の選択/詳細参照/登録/削除		
印刷設定	一般	印刷開始制御	「5.1.4 印刷設定(一般設定)」(P.83) 参照
		コンビニ -EAN128 設定	「5.1.5 印刷設定(JEF 設定)」(P.85) 参照
		強制拡張解像度印刷(*1)	<u>[5.1.6 印刷設定(第 2FPD 設定)」(P.86)</u> 参照
	JEF	印字幅設定	<u> 5.1.7 印刷設定(JEF/AP 設定)」(P.92)</u> 参照
		EAN128 目視文字位置	
		第 2FPD	
	JEF/AP	EAN128 目視文字位置	
	(*2)		
チャネル設定	CHC 機番アドレス		「5.1.8 チャネル設定」(P.93) 参照
	ChannelEnable 表示		
	チャネル接続		
	チャネル接続先		
プリンタ設定	デフォルト用紙長		「5.1.9 プリンタ設定」(P.94) 参照
データ操作	クリアプリント		「 <u>5.1.10 データ操作」(P.95)</u> 参照
	キャンセル		
ユーザ管理者モード	ユーザ管理者モードへの遷移		「5.1.11 ユーザ管理者モード」(P.99) 参照

表 5.4 一般ユーザモードメニュー一覧

*1: 強制拡張解像度印刷は、「拡張バーコード出力機構」オプションがインストールされている場合に表示されます。

*2: JEF/AP 設定は、「JEF/AP 出力機構」オプションがインストールされている場合に表示されます。
5.1.1 設定値一覧

一般ユーザモードで設定されている値を一覧で確認することができます。

手順 ▶▶▶ ------

- 1 メニューパネルから「設定値一覧」を選択します。 コンテンツパネルに設定値の一覧が表示されます。
- 2 各項目を確認します。

n Dil AA BR Unete			
的网络西蒙加	4	-	00
世世111直	4	オーハレイ	08
水平位直	05		
用毗設定			
現在選択中の用紙番号	000	用紙情報名	DEFAULT
印刷設定:一般		·	
印刷開始制御	Fモード(標準)	強制解像度印刷	無効
コンビニ-EAN128設定	白黒補正		
印刷設定:JEF			
印字幅設定	16.5インチ	現在選択中の第2FPD番号	101
EAN128目視文字位置	7mm	ラベル名	ノーデッキ
印刷設定:JEF/AP			
EAN128目視文字位置	7mm	-	-
チャネル設定			
CHC機番アドレス		-	-
チャネル接続	ON Line	チャネル接続先	A Channel
プリンタ設定			
デフォルト用紙長	11.0インチ	-	-

図 5.6 設定値一覧

- *1: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に表示されます。
- *2: 「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。

5.1.2 印刷位置設定

用紙への印刷位置を指定することができます。

また、用紙情報を複数登録し、用紙に応じて指定することができます。詳細は<u>「5.1.3 用紙設定」(P.77)</u>を参照 してください。

手順 ▶▶▶ ────

- 1 メニューパネルから「印刷位置設定」を選択します。 コンテンツパネルに印刷位置設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

刷位置設定		
重直位置:	4	
水平位置:	05	
オーバレイ:	08 • •	
※垂直位置、	水平位置、オーバレイの数値は16進数です。	

図 5.7 印刷位置設定

表 5.5 印刷位置設定の設定項目

番号	項目	初期値(*1)	説明
(1)	垂直位置	4	印刷位置の垂直オフセット量を調整することができます。 値の単位は 1/60 インチです。
(2)	水平位置	05	印刷位置の水平オフセット量を調整することができます。 値の単位は 1/60 インチ です。
(3)	オーバレイ	08	オーバレイの水平オフセット量を調整することができます。 値の単位は 1/120 インチ です。

*1: 初期値の数値は 16 進数です。

3 「適用」ボタンを押します。

備考

値を初期化する場合は、「初期化」ボタンで初期値に戻したあと、「適用」ボタンを押してください。

印刷位置の調整可能範囲

印刷位置の調整可能範囲を、表5.6に示します。

表 5.6 垂直位置/水平位置/オーバレイ位置の移動量調整可能範囲

内容	垂直方向	水平方向(*3)	オーバレイ
設定可能値の範囲 (*1)	0 ~ F	00 ~ BF	00~78
移動の単位	1/60 インチ	1/60 インチ	1/120 インチ
初期値(基準点)(*1)	4	05	08
基準点に対する移動方向・設定値 (*2)	下方向に最大 16 dot 1.69mm(4/60 インチ) 0 ~ 3	左方向に最大 20 dot 2.11mm(1/12 インチ) 00 ~ 04	左方向に最大 16 dot 1.69mm(1/15 インチ) 00 ~ 07(*4)
	上方向に最大 44dot 4.65mm(11.69 インチ) 5 ~ F	右方向に最大 744dot 78.74mm(3.1 インチ) 06 ~ BF	右方向に最大 224 dot 23.7mm(14/15 インチ) 09 ~ 78
移動対象となるデータ種別	文字・図形・イメージ・ オーバレイ	文字・図形・イメージ	文字 · 図形 · イメージ · オーバレイ

*1: 設定可能値および初期値の数値は 16 進数です。

*2: 移動 dot 数は、600dpi 換算です。

*3: 水平方向の印刷位置は、オーバレイ位置の設定の影響を受けるため注意が必要です。

*4: 印刷設定の印刷開始制御が I モードの場合、00 または 01 を指定すると、オーバレイの左端が印刷できない場合があり ます。この場合は、本装置の Web-UI にて 02 を設定し、左方向に移動させたい不足分をプリンタ装置の主操作パネル で左方向へ調整してください。

印刷位置設定時に、設定値に応じて印刷位置が移動する用紙1ページ内のイメージを図 5.8 に示します。 移動範囲の数値は 16 進数です。



図 5.8 垂直位置/水平位置/オーバレイ位置の移動範囲

備考

【印刷位置確認時のポイント】

本装置の「印刷位置設定」で変更した結果は、プリンタ装置に送信済みのデータには反映されません。反映さ せるには一度データをキャンセルまたはクリアプリントを実施してから、再度データを送信して確認してくだ さい。

5.1.3 用紙設定

運用帳票が複数ある場合、用紙ごとに用紙名や印刷位置調整の値などを登録することができます。用紙情報は、 初期状態で登録されている「DEFAULT」を除き、511 種類登録できます。

備考

本装置は、プリンタ装置で可能な用紙情報ごとの濃度設定はできません。印刷時の濃度は、プリンタ装置側で 設定された濃度で印刷されます。

手順 ▶▶▶ ───

- 1 メニューパネルから「用紙設定」を選択します。 コンテンツパネルに用紙設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。



図 5.9 用紙設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の用紙 情報番号および登録 名	000 DEFAULT	現在選択されている用紙情報の番号および用紙情報名が表示 されます。変更する場合は、用紙情報一覧から変更したい用紙 情報の行を選択し、「選択」ボタンを押します。
(2)	未登録行の表示	0FF (チェック なし)	 用紙情報一覧で用紙情報が登録されていない行を表示するかしないかを選択できます。なお、新しい用紙情報を登録する場合は、チェックを付けて(ON)ください(▲ 用紙情報を登録する」(P.79)参照)。 OFF(チェックなし) 用紙情報が登録されていない行は表示しません。登録されている用紙情報が5つ未満の場合は、空行が表示されます。 ON(チェックあり) 用紙情報が登録されていない行を表示します。また、新しい用紙情報を登録する場合は、チェックを付けます。
(3)	用紙情報一覧	000 行選択	 用紙情報が一覧で表示されます。各用紙情報には以下の項目があります。 番号登録した用紙情報の番号です(範囲:000~511)。 用紙情報名登録した用紙名です。用紙情報登録画面で指定します。 垂直印刷位置の垂直オフセット量です。印刷位置設定画面で指定します。 水平印刷位置の水平オフセット量です。印刷位置設定画面で指定します。 OVLオーバレイ位置の水平オフセット量です。印刷位置設定画面で指定します。 濃度本装置で濃度の設定はできないため、「-」を表示します(*1)。
(4)		_	用紙情報一覧を5行ずつ上にスクロールできます。
		_	用紙情報一覧を1行ずつ上にスクロールできます。
	••	_	用紙情報一覧を5行ずつ下にスクロールできます。
	▼	-	用紙情報一覧を1行ずつ下にスクロールできます。
(5)	番号指定移動	000	指定した番号の用紙まで用紙情報一覧をスクロールさせる場合、 番号指定に表示する用紙番号を入力し、「移動」ボタンを押し ます。000~511の範囲で指定可能です。

表 5.7 用紙設定

*1: 従来装置から用紙情報を引き継いだ場合は、引き継ぎ時の濃度がグレーアウトで表示されます。ただし、参考 情報のため、表示されている濃度は有効とはなりません。印刷時の濃度は、プリンタ装置側で設定してください。

- 3 以下のいずれかのボタンを押します。
 - 登録

新しい用紙情報を登録する場合に「登録」ボタンを押します。用紙情報は「DEFAULT」を除き、511 種類まで登録することができます。詳細は<u>■ 用紙情報を登録する」(P.79)</u>を参照してください。 • 選択

印刷に使用する用紙情報を選択する場合に「選択」ボタンを押します。選択した用紙情報が「選択中の用紙情報」に反映され、各設定値が「印刷位置設定」、「印刷設定」の「印字幅」、「印刷開始制御」、「コンビニ -EAN128 設定」に反映されます。

削除

登録済みの用紙情報を削除する場合に「削除」ボタンを押します。「DEFAULT」は削除できません。用 紙情報削除画面が開きます。選択中の用紙情報を削除すると、「DEFAULT」が選択されます。 用紙情報を削除します。詳細は<u>「■ 用紙情報を削除する」(P.81)</u>を参照してください。

• 詳細

登録済みの用紙情報の設定値を確認する場合に「詳細」ボタンを押します。用紙情報の詳細画面が開きます。詳細は「 用紙情報の詳細を確認する」(P.82)を参照してください。



■ 用紙情報を登録する

手順 ▶▶▶ ────

- 1 登録する用紙情報の項目をあらかじめ設定しておきます。以下の項目を設定します。
 - 印刷位置の垂直位置/水平位置/オーバレイ(<u>「5.1.2 印刷位置設定」(P.74)</u>参照)
 - 印刷設定の印字幅設定(「5.1.5 印刷設定(JEF 設定)」(P.85) 参照)
 - 印刷設定の印刷開始制御(「5.1.4 印刷設定(一般設定)」(P.83)参照)
 - 印刷設定のコンビニ- EAN128 設定(「5.1.4 印刷設定(一般設定)」(P.83)参照)

備考

用紙情報で登録する各項目の値は、実際の用紙でテスト印刷をして印字状態を確認しながら決定してく ださい。

2 「印刷設定」の画面で未登録項目も表示にチェックを付け、登録する番号の行をクリックし、 「登録」ボタンを押します。 用紙情報登録画面が開きます。 3 登録する各項目値を確認し、用紙情報名を入力します。 用紙情報名以外の値を変更したい場合は、<u>手順1</u>に戻って設定値を変更のうえ、再度本画面 で登録操作を行ってください。



図 5.10 用紙情報登録画面

表 5.8 用紙情報(登録)

番号	項目	説明
(1)	番号	用紙情報一覧で選択した用紙番号が表示されます。
(2)	用紙情報名	登録する用紙情報名を1~16文字で指定します。 利用可能文字は半角英数字、"-"(ハイフン)、"*"(アスタリスク)です。
(3)	垂直位置	印刷位置設定メニューの垂直位置の設定値が表示されます。
(4)	水平位置	印刷位置設定メニューの水平位置の設定値が表示されます。
(5)	オーバレイ	印刷位置設定メニューのオーバレイの設定値が表示されます。
(6)	印刷設定	 印刷設定メニューの内容が表示されます。 印字幅指定 JEFの印字幅指定の選択項目が表示されます。 印刷開始制御 一般の印刷開始制御の選択項目が表示されます。 コンビニ -EAN128 設定 一般のコンビニ -EAN128 設定の選択項目が表示されます。

4 「OK」ボタンを押します。

- -

■ 用紙情報を削除する

手順 ▶▶▶ ──

- **1**「用紙設定」の画面で削除する番号の行をクリックし、「削除」ボタンを押します。 「用紙情報削除」の確認画面が開きます。
- 2 「用紙情報」の内容を確認し、「はい」ボタンを押します。 用紙情報には、用紙設定画面で選択した用紙情報番号および用紙情報名が表示されます。

用紙情報番号および用紙情報名

用紙情報削除	
用紙情報 「002:pa よろしいですか?	oer1 <mark>1 を削除します。</mark>
	(はい) いいえ)

図 5.11 用紙情報削除確認画面

- 444

■ 用紙情報の詳細を確認する

手順 ▶▶▶ ──

- **1**「用紙設定」の画面で削除する番号の行をクリックし、「詳細」ボタンを押します。 「用紙情報詳細」画面が開きます。
- 2 各項目の設定内容を確認します。



図 5.12 用紙情報詳細画面

表 5.9 用紙情報(詳細)

番号	項目	説明
(1)	番号	用紙情報一覧で選択した用紙番号が表示されます。
(2)	用紙情報名	用紙情報一覧で選択した用紙情報の用紙名が表示されます。
(3)	水平位置	用紙情報一覧で選択した用紙情報の水平位置が表示されます。
(4)	オーバレイ	用紙情報一覧で選択した用紙情報のオーバレイが表示されます。
(5)	印刷設定	 用紙情報一覧で選択した用紙情報の印刷設定が表示されます。 印字幅指定 用紙情報一覧で選択した用紙情報の印字幅指定が表示されます。 印刷開始制御 用紙情報一覧で選択した用紙情報の印刷開始制御が表示されます。 コンビニ -EAN128 設定 用紙情報一覧で選択した用紙情報のコンビニ -EAN128 設定が表示されます。

3 「閉じる」ボタンを押します。

5.1.4 印刷設定(一般設定)

印刷に関する設定を行います。一般タブで設定した値は、JEF と JEF/AP の両方で有効となります。

手順 ▶▶▶ ──

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。 コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「一般」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

1設定				
- 般 JEF 	Fモード(標準)			
コンビニ-EAN128設定:	白黒補正	•		
強制拡張解像度印刷:	無効	v		

図 5.13 印刷設定の一般設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	印刷開始制御	F モード (標準)	 印刷開始位置のモードを指定します。 Fモード(標準) 印刷開始位置を左端 0.6 インチから印刷します。 Iモード 印刷開始位置を左端 0.5 インチから印刷します。
(2)	コンビニ -EAN128 設定	白黒補正	 補正およびバーコードの幅を指定します。 コンビニ -EAN128 設定の補正は、GS1-128(料金代理収納用) バーコードのみが対象です。 GS1-128(料金代理収納用)印刷を行わない場合は、設定の必要はありません。 補正なし 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 白のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 白補正 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 白補正 黒のバーコード幅 5,9,13,17 で印刷します。 白馬補正 黒のバーコード幅 3,7,11,15 ピクセルで印刷します。 白のバーコード幅 3,7,11,15 ピクセルで印刷します。
(3)	強制拡張解像度印刷 (*1)	無効	 強制解像度印刷の有効/無効を指定します。本設定は、JEF モードかつ「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に 有効となります。 ・無効 GS1-128(料金代理収納用)バーコードや OCR を含む ページを 600dpi で印刷します。 ・有効 すべてのページを 600dpi で印刷します。

表 5.10 印刷設定(一般設定)

*1: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に、本設定項目が表示されます。

4 「適用」ボタンを押します。

── ◀◀◀

5.1.5 印刷設定(JEF 設定)

印刷に関する設定を行います。JEF タブ画面で設定した値は、JEF の場合に有効となります。

手順 ▶▶▶ ───

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。 コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- **2**「JEF」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

	(1)	(2)	(3)
印刷設定			
一般 JEF			
印字幅設定:	16.5インチ	-	
EAN128目視文字位置:	7mm		
第2FPD: 101:ノーデッキ	第2FPD 設定		
適用			

図 5.14 印刷設定の JEF 設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	印字幅設定	16.5 インチ	印刷最大幅を指定します。 データランプ点灯中に印字幅を変更すると未印刷データの 消去を確認する画面が表示されます。 ・13.6 インチ 印刷最大幅を 13.6 インチに指定します。 ・16.5 インチ 印刷最大幅を 16.5 インチに指定します。 ・18.0 インチ(*1) 印刷最大幅を 18.0 インチ(*1)に指定します。
(2)	EAN128 目視文字位置	7mm	 EAN128 目視文字位置は、GS1-128(料金代理収納用) バーコードのみが対象です。 GS1-128(料金代理収納用)バーコードの目視文字の位置 を指定します(*2)。 7mm バーコードの目視文字の位置を7mmに指定します。 9.5mm バーコードの目視文字の位置を9.5mmに指定します。
(3)	第 2FPD 設定	_	第 2FPD 設定画面を開きます。 詳細は <u>「5.1.6 印刷設定(第 2FPD 設定)」(P.86)</u> を参照し てください。

表 5.11 印刷設定(JEF 設定)

*1: 18.0 インチは PS5600C50 モデルで選択できます。

*2: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時、本設定が有効になります。オプション未搭載の場合、設定は無 視されます。

4 「適用」ボタンを押します。

5.1.6 印刷設定(第 2FPD 設定)

印刷に関する設定を行います。第 2FPD 設定は、文字パターンをあらかじめ本装置に登録しておき、業務に必要 な第2FPDを選択し、運用を行うために使用するものです。第2FPDの登録はSE(システムエンジニア)が行います。 第 2FPD は 001 ~ 099 まで登録可能です。なお、ブランク FPD は、新しい第 2FPD を作成するときに選択して ください。ブランク FPD を選択したまま運用すると、ER85-52 となる場合があります。

手順 ▶▶▶ ─────

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。 コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- **2** 「JEF」タブを選択し、「第 2FPD 設定」ボタンを押します。

3 各項目を設定します。

(1)			(2	2) I	(3)
第2FPD	設定				
現在選拔	R中の第2FPD: 1	01 ラベル名	: ノーデッキ		閉じる
一未登	録項目の表示				
番号	ラベル名	プロテクト	コメント		•
101*	ノーデッキ				
100*	ブランクFPD				
000*	JIS2				
) *	枵指定: 000 🔺	•)	移動
j	選択	削除	プロテクト) 、コメ	ント	編集
*プロ	テクト変更処理、	削除、コメント	編集はできません。		
	(4	.)			(5)

図 5.15 第 2FPD 設定

表 5.12 印刷設定(第 2FPD 設定)

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の第 2FPD	101	現在選択されている第 2FPD のラベル名を表示します。本項目
	ラベル名	ノーデッキ	を変更する場合は、(3)で対象を選択し、「選択」ボタンを押
			します。
(2)	未登録行の表示	OFF	未登録行を表示するかを指定します。
			• OFF
			未登録行は表示しません。登録されている第 2FPD が 5 つ
			未満の場合は、空行が表示されます。
			• ON
			未登録行を表示します。

番号	項目	初期値	説明
(3)	第 2FPD 情報一覧	101	 登録済みの第 2FPD 情報を一覧で表示します。第 2FPD 情報には以下の項目があります。 番号「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は初期状態で登録されています。 番号 格納されている第 2FPD を表す 000 ~ 101 の数値です。 ラベル名 格納されている第 2FPD のラベル名です。 プロテクト 格納されている第 2FPD の書き込み可/不可の設定状態です。 「ロテクト 格納されている第 2FPD の書き込み可/不可の設定状態です。 「「-」 初期状態で登録されていて変更できません。 「有効」 プロテクトが有効で書き込みできません。 「無効」 プロテクトが無効で書き込みできます。 コメント 格納されている第 2FPD のコメントです。
(4)	スクロールアイコン	_	第 2FPD 情報一覧を上下にスクロールさせる場合に押します。 「▲」ボタンまたは「▼」ボタンを押して1行ずつ上または下 にスクロールします。「▲▲」ボタンまたは「▼▼」ボタンを 押して5行ずつ上または下にスクロールします。
(5)	番号指定	00	選択したい第 2FPD 情報の番号を入力し、「移動」ボタンを押 します。00 ~ 99 の範囲で指定できます。 なお、「未登録項目を表示」にチェックが付けられている場合 に、未登録の番号を指定するとその番号の行が表示されます。

- 4 以下のいずれかのボタンを押します。
 - ・ 選択 第 2FPD を選択します。詳細は「■ 第 2FPD を選択する」(P.89) を参照してください。
 - ・ 削除 第 2FPD を削除します。詳細は「■ 第 2FPD を削除する」(P.89) を参照してください。
 - プロテクト
 第 2FPD にプロテクトを設定します。詳細は
 「■ 第 2FPD にプロテクトを設定する」(P.90)
 を参照してください。
 - ・コメント編集 第 2FPD のコメントを編集します。詳細は
 「■ 第 2FPD のコメントを編集する」(P.91) を参照してく ださい。

■ 第 2FPD を選択する

使用する第 2FPD を選択すると、選択した第 2FPD が「現在選択中の第 2FPD」に反映されます。

手順 ▶▶▶ ────

- **1** 「第 2FPD 設定」画面で、選択したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「選択」ボタンを押します。

■ 第 2FPD を削除する

格納されている第 2FPD を削除します。 初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は削除できません。

手順 ▶▶▶ ────

- **1** 「第 2FPD 設定」画面で、削除したい第 2FPD をクリックします。
- 「削除」ボタンを押します。
 第 2FPD 削除確認画面が開きます。

第 2FPD	ラベル名
第2FPD削除確認	
第2FPD 「001:DA	TAIを削除します。よろしいですか?
	(はい) いいえ

図 5.16 第 2FPD 削除確認画面

3 削除する第 2FPD ラベル名が正しい場合、「はい」ボタンを押します。

- 444

■ 第 2FPD にプロテクトを設定する

格納されている第 2FPD をプロテクト(書き込み可/不可)状態に設定します。

プロテクトを有効に設定した第 2FPD は、上書き登録できなくなります。なお、プロテクト有効時でも削除は可能です。

初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は、プロテクト設定できません。

手順 ▶▶▶ ------

- **1** 「第 2FPD 設定」画面で、プロテクトを設定したい第 2FPD をクリックします。
- プロテクト」ボタンを押します。
 プロテクト画面が開きます。
- 3 第 2FPD 情報一覧で選択した第 2FPD の書き込み可、または書き込み不可を設定します。

	(1)	(2)
プロテクト		
第2FPD: 001 ラベル名 プロテクト: 無効 ▼	: JIS3	
通用) _ +1	ッンセル)

図 5.17 プロテクト画面

表 5.13 プロテクト画面の操作

番号	項目	説明
(1)	第 2FPD	選択した第 2FPD の番号とラベル名を表示します。
	ラベル名	
(2)	プロテクト	選択した第 2FPD のプロテクト指定を変更します。
		 有効 書き込み不可にします。 無効 書き込み可能にします。

4 「適用」ボタンを押します。

- 44

■ 第 2FPD のコメントを編集する

格納されている第 2FPD のコメントを編集します。 初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、および「000 JIS2」のコメントは、編集 できません。

手順 ▶▶▶ ────

- **1** 「第 2FPD 設定」画面で、コメントを編集したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「コメント編集」ボタンを押します。 コメント編集画面が開きます。
- 3 第 2FPD 情報一覧で選択した第 2FPD のコメントを入力します。



図 5.18 コメント編集画面

表 5.14 コメント編集画面の操作

番号	項目	説明
(1)	選択中の第 2FPD	選択した第2FPDの番号とラベル名が表示されます。
(2)	コメント	選択した第 2FPD のコメントを編集します。
		最大 16 文字を入力できます。半角英数字、半角記号(*1)、全角文字を入力す
		ることができます。半角空白は入力できません。

*1: ¥ (円マーク)、" (ダブルクォーテーション)、& (アンパサンド)、< (小なり)、> (大なり) は使用できません。

4 「適用」ボタンを押します。

444

5.1.7 印刷設定(JEF/AP 設定)

印刷に関する設定を行います。JEF/AP のタブは、「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。 JEF/AP タブ画面で設定した値は、JEF/AP の場合に有効となります。

手順 ▶▶▶ ────

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。 コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- **2** 「JEF/AP」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

刷設定		
一般 JEF JEF/4	AP	
EAN128目視文字位置:	7mm	

図 5.19 印刷設定の JEF/AP 設定

表 5.15 印刷設定(JEF/AP 設定)

 (1) EAN128 目視 7mm GS1-128(料金代理収納用)バーコードの目視文字の位置を指定します。 ・ 7mm バーコードの目視文字の位置を 7mm に指定します。 ・ 9.5mm 	番号	項目	初期値	説明
バーコードの目視文字の位置を 9.5mm に指定します。	(1)	EAN128 目視 文字位置	7mm	 GS1-128(料金代理収納用)バーコードの目視文字の位置を指定します。 7mm バーコードの目視文字の位置を7mmに指定します。 9.5mm バーコードの目視文字の位置を9.5mmに指定します。

4 「適用」ボタンを押します。



5.1.8 チャネル設定

富士通メインフレームとの接続状態の表示と切り換えを行います。

「手順▶▶▶ ────

- **1** メニューパネルから「チャネル設定」を選択します。 コンテンツパネルにチャネル設定の項目が表示されます。
- 各項目を設定します。
 2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)オプションが未搭載の場合は、チャネル接続先でチャネル A のみ ON Line、OFF Line の設定ができます。

注意

チャネル接続先の変更は、ホスト側の OS 上で装置が OFF Line になっていることを確認してから行ってください。

2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)オプション搭載時の設定は、 <u>2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)オ</u> <u>プション搭載時」(P.94)</u>を参照してください。



図 5.20 チャネル設定

表 5.16 チャネル設定の項目

番号	項目	説明
(1)	CHC 機番アドレス	本装置に設定されている機番を表示します。機番の設定は保守技術員(担当 CE)が行います。
(2)	チャネル接続	本装置をオンライン状態/オフライン状態へ遷移させます。「チャネル接続先」 で選択されているチャネルに対して設定します。 設定は「適用」ボタンを押すと反映されます。

番号	項目	説明
(3)	Channel Enable	現在のチャネル接続状態を示します。本装置のチャネル接続が ON Line の場合 に、チャネル接続先で接続されているチャネルのランプが緑色に点灯します。 なお、オンライン状態となるチャネルは A / B いずれか一方となります。
(4)	チャネル接続先 (*1)	本装置に接続されているチャネル A / B を切り替えることができます。設定は 「適用」ボタンを押すと反映されます。なお、切り替える場合は、いったん 「チャネル接続」でオフライン状態に遷移させたあとに実施してください。

*1: 「B Channel」は 2 チャネルスイッチ (PS5CHSW) オプション搭載時に選択できます。

3 「適用」ボタンを押します。



- 444

■ 2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)オプション搭載時

2 チャネルスイッチ(PS5CHSW)オプション搭載時にチャネルを切り換える場合は、「チャネル設定」で以下の 手順を行います。

「手順 ▶▶▶ ─────

- チャネル接続で「OFF Line」を選択し、「適用」ボタンを押します。
 チャネル接続先で接続されているチャネルのランプ(Channel Enable)が無点灯になります。
- 2 切り替えるチャネル接続先を選択します。
- **3** チャネル接続で「ON Line」を選択し、「適用」ボタンを押します。 チャネル接続方法で接続されているチャネルのランプ(Channel Enable)が緑色に点灯します。

5.1.9 プリンタ設定

デフォルト用紙長を指定します。

手順 ▶▶▶ ────

- メニューパネルから「プリンタ設定」を選択します。
 コンテンツパネルにプリンタ設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

(1)	
プリンタ設定	
● デフォルト用紙長:	11.0インチ 🔻
適用	

図 5.21 プリンタ設定

表 5.17 デフォルト用紙長の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	デフォルト用紙長	11.0 インチ	デフォルト用紙長を指定することができます。 指定可能な範囲は 3.5 インチ〜 14.0 インチで、0.5 インチ 間隔で指定できます。

3 「適用」ボタンを押します。

5.1.10 データ操作

本装置上のデータ操作ができます。

「手順 ▶▶▶ ─────

- **1** メニューパネルから「データ操作」を選択します。 コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 2 操作するボタンを選択します。

クリアプリント		
データキャンセル		

図 5.22 データ操作

- クリアプリント クリアプリントを行います。詳細は、「<u>クリアプリントを行う」(P.96)</u>を参照してください。
- ・データキャンセル
 データキャンセルを行います。詳細は、「■データキャンセルを行う」(P.98)
 を参照してください。

- 444

- ◀◀◀

■ クリアプリントを行う

クリアプリントを実施すると、ページ完成したデータを印刷します。クリアプリント時にページ完成されていな いデータが存在している場合は、データランプが点滅します。

手順 ▶▶▶ ───

- **1** メニューパネルから「データ操作」を選択します。 コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 2 データ操作画面で「クリアプリント」ボタンを押します。

注意

通常、「クリアプリント」ボタンはグレーアウトしており、操作することはできません。プリンタ装置 を接続中に一度ボタン部分を押すと、グレーアウトが解除され、操作可能となります。 なお、操作可能後、5秒以内にボタンを操作しない場合、再びグレーアウトになります。

データ操作		
クリアプリント		
データキャンセル		

図 5.23 「クリアプリント」ボタン操作可能状態

操作可能になった「クリアプリント」ボタンを押すと確認画面が開きます。

3 「はい」ボタンを押します。



図 5.24 クリアプリント確認画面

クリアプリント実行中は以下の画面が表示されます。

情報	
クリアプリント実行中です。	
018 9 1010 9 172201	J

図 5.25 クリアプリント実行中画面

クリアプリントが失敗した場合、以下のエラー画面が表示されます。

15-	
クリアプリントに失敗しました。 プリンタの状態がスタートではありま プリンタをスタート状態にした後、チ ントボタンを押してください。	せん。 ャネル接続機構のクリアプリ
	(NUS)

図 5.26 クリアプリント失敗画面(プリンタ状態がスタートではない)

エラー	
クリアプリントに失敗しました。 プリンタで用紙づまりが発生しま 用紙づまりを解消してください。 プリンタをスタート状態にした後、 ントボタンを押してください。	した。 チャネル接続機構のクリアプリ
	関じる

図 5.27 クリアプリント失敗画面(プリンタで用紙づまりが発生)

■ データキャンセルを行う

データキャンセルを実施すると、本装置およびプリンタ装置に残っている未印刷データを削除します。

手順 ▶▶▶ ------

- 1 プリンタ装置の主操作パネルで「ストップ」ボタンを押して印刷を停止させます。
- 2 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にします。

備考

プリンタ装置の主操作パネルで、「ストップ」ボタンを押す前にメインパネルの「ストップ」ボタンを 押すと、未印刷データの削除が遅れるため、先にプリンタ装置の主操作パネルで「ストップ」ボタンを 押してください。

- **3** メニューパネルから「データ操作」を選択します。 コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 4 データ操作画面で「データキャンセル」ボタンを押します。

注意

通常、「データキャンセル」ボタンはグレーアウトしており、操作することはできません。一度ボタン 部分を押すと、グレーアウトが解除され、操作可能となります。なお、操作可能後、5秒以内にボタン を操作しない場合、再びグレーアウトになります。

データ操作	
クリアプリント	
データキャンセル	

図 5.28 「データキャンセル」ボタン操作可能状態

有効になった「データキャンセル」ボタンを押すと確認画面が開きます。

5 「はい」ボタンを押します。

確認		
印刷をキャンセルし、データを消去します。 よろしいですか?		
はいいえ		

図 5.29 キャンセル確認画面

データキャンセル実行中は以下の画面が表示されます。

情報	
データキャンセル実行中です。 しばらくお待ちください。	

図 5.30 データキャンセル実行中画面

5.1.11 ユーザ管理者モード

一般ユーザモードからユーザ管理者モードに遷移する場合に操作します。

手順 ▶▶▶ ───

メニューパネルから「ユーザ管理者モード」を選択します。
 ユーザ管理者モードのパスワード入力画面が開きます。

備考

ユーザ管理者モードへの遷移を行わない場合は、メニューパネルでほかのメニューを選択し、一般ユー ザモードに戻ってください。

パスワードを入力します。
 入力した文字は「●」(黒丸)で表示されます。

注意

「ユーザ管理者モード」のパスワードの初期値は "PRINTERADMIN"(すべて大文字)です。

ユーザ管理者モード				
パスワード:				
ОК				

図 5.31 ユーザ管理者モードのパスワード入力画面

3「OK」ボタンを押します。

正しいパスワードを入力した場合、ユーザ管理者モードに遷移します。 誤ったパスワードを入力した場合、パスワード入力エラー画面を表示し(図 5.32)、「閉じる」ボタンを 押すとパスワード入力画面に戻ります。

15-	
パスワードが違います。	
	閉じる

図 5.32 パスワード入力エラー画面



備考

ユーザ管理者モードのパスワードは一般ユーザには公開せず、パスワードは定期的に変更してください。 パスワードの変更については、「5.2.8 パスワード変更」(P.120) を参照してください。

5.2 ユーザ管理者モードメニュー

運用管理端末に関する設定や、Web-UI にログインするためのパスワード設定など、様々な設定を行うことができます。

各設定項目について以下に示します。

×=	項目		備考
ネットワーク設定	LAN1/LAN2	有効プロトコル	<u>「5.2.1 ネットワーク設定」(P.102)</u> 参照
		MAC アドレスの表示	
		IP アドレス	
		ネットマスク	
	LAN1 のみ	デフォルトルータ	
プリンタ設定	プリンタ接続設定	モデル名	「5.2.2 プリンタ設定」(P.104) 参照
		プリンタ装置名	
		有効プロトコル	
		IP アドレス	
		印刷ポート	
	プリンタ連携設定	オートスタート	
アクセス制御	IP アドレスによるアクセス制御		「5.2.3 アクセス制御」(P.109) 参照
	アクセス許可リスト(5 設定分)		
日時設定	日時設定		「5.2.4 日時設定」(P.110) 参照
	NTP 設定		
	NTP サーバ		
表示設定	日時設定		「5.2.5 表示設定」(P.112) 参照
	接続先情報表示		
ログ	サポートログを収集	する	<u>「5.2.6 ログ」(P.115)</u> 参照
UPS 設定	UPS 設定	UPS	「5.2.7 UPS 設定」(P.117) 参照
		IP アドレス	
		ユーザ名	
		パスワード	
	自動停止設定	自動停止	
		自動停止開始時間	
パスワード変更	一般ユーザパスワー	ド変更	<u>「5.2.8 パスワード変更」(P.120)</u> 参照
	ユーザ管理者パスワード変更		
一般ユーザモード	ユーザ管理者パスワード変更		<u>「5.2.9 一般ユーザモード」(P.122)</u> 参照

表 5.18 ユーザ管理者モードメニュー一覧

5.2.1 ネットワーク設定

運用管理端末やプリンタ装置を接続するために必要な、各種ネットワーク設定を行います。

注意

ネットワーク設定後は本装置の再起動が必要です。

手順 ▶▶▶ —

- メニューパネルから「ネットワーク」を選択します。
 コンテンツパネルにネットワーク設定の項目が表示されます。
- 2 「LAN1(運用・管理ポート)」タブおよび「LAN2(プリンタ接続ポート)」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。



図 5.33 運用・管理ポート用ネットワーク設定(LAN1)



図 5.34 プリンタ接続ポート用ネットワーク設定(LAN2)

		i	
タブ	番号	項目	説明
LAN1(運用・管理	(1)	有効プロトコル	LAN1のIPアドレスのインターネットプロトコルです。
ポート)	(2)	MAC アドレス	LAN1 の接続ポートの MAC アドレスを表示します。
	(3)	IP アドレス	LAN1 の IP アドレスを指定します。
	(4)	ネットマスク	LAN1のIPアドレスのサブネットマスクを指定します。
	(5)	デフォルトルータ	デフォルトルータを設定します。
LAN2(プリンタ接続	(1)	有効プロトコル	LAN2のIPアドレスのインターネットプロトコルです。
ポート)	(2)	MAC アドレス	LAN2 の接続ポートの MAC アドレスを表示します。
	(3)	IP アドレス	LAN2 の IP アドレスを指定します。
	(4)	ネットマスク	LAN2 の IP アドレスのサブネットマスクを指定します。

表 5.19 ネットワーク設定の項目

- 3 「適用」ボタンを押します。 ネットワーク設定の適用画面が開きます。 「キャンセル」ボタンを押すと各値を変更前の値に戻します。
- 4 「はい」ボタンを押します。 本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」ボタンを押した場合は、次回の本装置再起動後に設 定が適用されます。

ネットワーク	設定の適用
ネットワーク 適用して再起	?設定を適用するには再起動が必要です。 ?動します。よろしいですか?
	はいしいいえ

図 5.35 ネットワーク設定の適用画面

5.2.2 プリンタ設定

本装置の Web-UI より接続するプリンタ装置の設定を行います。プリンタ設定の変更や接続確認を行う場合は、 プリンタ装置を切断した状態で行ってください。

手順 ▶▶▶ ────

- 1 メニューパネルから「プリンタ設定」を選択します。 コンテンツパネルにプリンタ設定の項目が表示されます。
- **2** 「プリンタ接続設定」タブおよび「プリンタ連携設定」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

		(1)	(2) (3) (4) (5)
プリンタ設定 プリンタ接続設	定 プリンタ連携設定	1	
モデル名:	PS5600C	•	
プリンタ装置名	i: PS5600C	-	
有効プロトコル	: IPv4	-	
IPアドレス:	192 . 168 . 1 . 1	-	
印刷ポート:	9313	•	

図 5.36 プリンタ設定(プリンタ接続設定)

()	6) I
プリンタ設定	
プリンタ接続設定	プリンタ連携設定
オートスタート:	なし
適用	キャンセル 接続確認

図 5.37 プリンタ設定(プリンタ連携設定)

タブ	番号	項目	説明
プリンタ接続設定	(1)	モデル名	本装置と接続可能なプリンタのモデル名が表示されます。モ デル名は以下のとおりです。 例) • 本装置が PS5110B 接続モデル場合、PS5110B • 本装置が PS5600C 接続モデルの場合、PS5600C
	(2)	プリンタ 装置名	本装置と接続するプリンタの装置名を入力します。プリンタ を区別するためのものであるため、プリンタ装置名の決定は 利用者の判断で行ってください。 文字数:1~14文字 文字種別:半角英数字(記号を除く、先頭は英字であること)
	(3)	有効プロト コル	接続するプリンタの IP アドレスのインターネットプロトコル を表示します。
	(4)	IP アドレス	本装置と接続するプリンタの IP アドレスを指定します。
	(5)	印刷ポート	プリンタに印刷データを送信する際のポート番号を指定しま す。 指定可能範囲は、1 ~ 65535 です。
プリンタ連携設定	(6)	オート スタート	本装置が起動完了したあと、本装置を READY 状態にするかど うかを設定します。 「あり」の場合、以下の 2 つの条件に合致した場合に READY 状態にします。詳細は、 <u>P.108</u> に記載の「備考」を参照して ください。 ・ プリンタ装置を接続完了 ・ チャネルが ON Line

表 5.20 プリンタ設定の項目

*1: プリンタ装置を、富士通メインフレームのみで利用する場合は「あり」が推奨、オープンサーバと切り替えて利用する場合は「なし」が推奨です。

3 「適用」ボタンを押します。

再起動を確認する「プリンタ設定の適用」画面が表示されます。 「はい」ボタンを押すと、本装置を再起動し、設定を反映します。 「いいえ」ボタンを押すと、本装置を再起動せずに本画面を閉じます。設定は反映されません。

プリンタ設定の適用	
ブリンタ設定を適用するには 適用して再起動します。よろ	再起動が必要です。 しいですか?
	(はい) いいえ

図 5.38 プリンタ設定の適用画面

備考

• プリンタ装置を接続中の状態で「適用」ボタンを押した場合、プリンタを接続中の画面が表示されます。

I7-	
プリンタを接続中です。 プリンタを切断後、接続確認ボタンを押してください。	
	閉じる

図 5.39 プリンタを接続中の画面(接続確認クリック時)

17-	
プリンタを接続中です。 プリンタを切断後、プリンタ設定を適用してください。	
	閉じる

図 5.40 プリンタを接続中の画面(適用クリック時)

•「接続確認」ボタンを押すと、指定したプリンタ装置を接続しているか、接続しているプリンタ装置のモデルが「モデル名」に表示されているモデルと一致するかを確認します。 なお、プリンタ装置と接続中の状態で「接続確認」ボタンを押した場合、プリンタと接続中の画面が表示 されます。

接続確認は、確認するプリンタ装置の IP アドレスが本装置に適用されている状態で実施してください。IP アドレスを変更する場合は、本装置の再起動が必要です。



図 5.41 接続確認の確認画面

接続確認中	
接続確認中	
7777	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

図 5.42 接続確認中を示す画面

プリンタ接続確認結果	
プリンタ接続に成功しました。	
	閉じる

図 5.43 接続成功時の確認結果画面

プリンタ接続確認結果	
プリンタ接続に失敗しました。 プリンタ設定値とプリンタを確認してください。	
	間じる

図 5.44 接続失敗時の確認結果画面

エラー
プリンタ接続に失敗しました。 異なるモデルのプリンタが接続されています。
(はい) いいえ

図 5.45 プリンタ接続失敗画面(異なるモデルのプリンタ接続)

•オートスタート設定を「あり」にした場合、本装置起動時にプリンタ装置を接続します。接続処理 中に Web-UI でログインすると、プリンタ接続中の画面が表示されます。

プリンタ接続中	
プリンタ接続中	
[]/////////////////////////////////////	///////////////////////////////////////

	中止

図 5.46 プリンタ接続中の画面

なお、プリンタ装置が他装置と接続している場合は、プリンタ接続失敗画面が表示されます。

I7-	
プリンタ接続に失敗しました。 他で使用中です。	
	閉じる

図 5.47 プリンタ接続失敗画面(他で使用中)

プリンタ装置を接続完了後、チャネル接続が「ON Line」の場合に状態遷移中の画面を表示します。 その後、本装置が READY 状態になります。

状態	题移中	
状態	國移中	
	//////	///////////////////////////////////////

図 5.48 状態遷移中の画面

- 444
5.2.3 アクセス制御

運用管理端末として本装置の Web-UI にアクセスできる IP アドレスを設定します。

注意

誤った IP アドレスを指定したり、登録した IP アドレスを忘れたりした場合は、本装置の Web-UI にアクセス できなくなります。アクセスできなくなった場合は保守技術員(担当 CE)に連絡してください。

手順▶▶▶−

- **1** メニューパネルから「アクセス制御」を選択します。 コンテンツパネルにアクセス制御の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

			(1)		(2)
アクセス制御					
IPアドレスによる	5アクセ	ス制御			
	のアドL セス許可	レスから 可リスト	の設定	有効)	
アクセス許可リス	スト				
アドレス1:				マスク長:	
アドレス2:		- [マスク長:	
アドレス3:		- [マスク長:	•
アドレス4:	- [- [マスク長:	
アドレス5:				マスク長:	
適用) _=	ャンセノ	16)		

図 5.49 アクセス制御

表 5.21 アクセス制御の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	IP アドレスに	無効 (全てのアドレ	アクセス制御しない場合は「無効(全てのアドレスから可能)」を選 択します。
	る。 制御	スから可能)	アクセス制御する場合は「有効(アクセス許可リストの設定有効)」 を選択します。選択後、「アクセス許可リスト」が有効になります。
(2)	アクセス許可 リスト(*1)	_	アクセス許可する IP アドレスは 5 種類設定できます。マスク長に 適切なビットマスクを設定すると、同じサブネット内の複数の IP アドレスを設定できます。

*1: 本装置の Web-UI 接続ポートおよびプリンタ接続ポートの IP アドレスは、アクセス許可の対象になるため、本 設定で登録する必要はありません。 3 「適用」ボタンを押します。

5.2.4 日時設定

本装置の日時に関する設定を行います。

手順 ▶ ▶ ▶ ─────

- 1 メニューパネルから「日時設定」を選択します。 コンテンツパネルに日時設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

	(1)	
日時設	定	
日付:	: 2020 🔺 🔻 年 6月 🔻 1日 🔻	
時間:	: 19 🔺 🔻 時 14 🔺 🗸 分	
	適用 キャンセル	
NTP≣	設定: 無効 ▼	
NTP ⁺	ש-אל: 0 . 0 . 0 . 0	
	適用 キャンセル	
	(2)	

図 5.50 日時設定

表 5.22 日時設定の項目

番号	項目	説明
(1)	日付時間	システム日付を設定します。 NTP 設定を有効にした場合は、グレーアウトします(設定不要)。
(2)	NTP 設定	 NTP による時刻同期を設定します。 ・ 無効 NTP サーバと時刻同期しません。「日付」、「時刻」に正しい日時を設定して ください。 ・ 有効 NTP サーバと時刻同期します。NTP サーバの IP アドレスを正しく入力して ください。

- - -

3 「適用」ボタンを押します。 NTP サーバと同期をする場合、同期中画面が表示されます。

同期中	
NTPサーバと同期中	

- 図 5.51 NTP サーバとの時刻同期中画面
- 結果は、ポップアップメッセージで表示されます。
- 成功した場合

接続確認	
指定したNTPサーバとの時刻同期に成功しました。	
	P
	【閉じる】

失敗した場合

接続確認	
指定したNTPサーバとの時刻同期に失敗しました。 NTPサーバのIPアドレスが正しいか確認してください。	

- 444

5.2.5 表示設定

本装置の Web-UI の表示設定を行います。本設定では、Web-UI 上への日時情報表示の選択(表示する日時は [5.2.4 日時設定」(P.110) 参照)、および接続先情報表示内容の更新を行います。

手順 ▶▶▶ ────

- メニューパネルから「表示設定」を選択します。
 コンテンツパネルに表示設定の項目が表示されます。
- 2 「日時表示設定」タブおよび「接続先情報表示設定」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

日時表示設定	接続先情報表示設定	
日時表示: な		

図 5.52 表示設定(日時表示設定)

No.	接続先情報	表示名
01		
02	000000011109000	HOST01
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		



- ・日時表示設定
 メインパネルの日時を表示するかどうかを設定します。詳細は、
 「■日時表示設定を行う」(P.113)
 を
 参照してください。
- ・ 接続先情報表示設定
 メインパネルに表示する接続先情報の表示名を設定します。詳細は、 <u>■ 接続先情報の設定を行う</u>
 (P.114) および <u>■ 接続先情報の設定を削除する」(P.115)</u>参照してください。

■日時表示設定を行う

手順 ▶▶▶ ───

- **1** 「日時表示設定」タブで日時表示を「あり」に選択します。 初期値は「なし」です。
- 2 「適用」ボタンを押します。



図 5.54 日時表示を「あり」に設定した場合



図 5.55 日時表示を「なし」に設定した場合

■ 接続先情報の設定を行う

表示名が設定された接続先と接続している場合は、メインパネルに設定した表示名が表示されます。表示名が設定されていない場合は、接続先情報を表示します。

手順 ▶▶▶ ──

- 1 「接続先情報表示設定」タブで接続先情報が設定されていない行を選択します。
- 2 「設定」ボタンを押します。 設定画面が表示されます。
- 3 各項目を入力します。



図 5.56 接続先情報表示設定の画面

番号	項目	説明
(1)	接続先情報	表示名を設定する接続先情報を 16 文字で指定します(任意)。
		利用可能文字は16進の数字です。
(2)	表示名	接続先情報の表示名を1~16文字で指定します(任意)。
		利用可能な文字は英数字です。

4 「はい」ボタンを押します。

入力した内容が表示設定メニューの接続先情報表示設定一覧に反映されます。

■ 接続先情報の設定を削除する

設定した接続先情報を削除します。

手順 ▶▶▶ ------

- 1 「接続先情報表示設定」タブで削除したい接続先情報の行を選択します。
- 2 「削除」ボタンを押します。 削除確認画面が表示されます。

接続先情報表示設定的	削除確認
۲02:00000000011	110900:HOST01」を削除します。
よろしいですか?	

図 5.57 接続先情報表示設定削除確認の画面

3 「はい」ボタンを押します。

5.2.6 ログ

ログの収集は、保守技術員(担当 CE)から指示があった場合に実施してください。収集したログは、保守技術 員のみ取り出すことができます。

注意

ログの収集後は本装置のシャットダウンが必要です。

_____ ◀◀◀

手順 ▶▶▶ ────

メニューパネルから「ログ」を選択します。
 コンテンツパネルに「サポートログを収集」が表示されます。

図 5.58 サポートログ収集

- 2 「サポートログを収集」ボタンを押します。
- **3** サポートログ収集後は再起動が必要であることを警告する画面が表示されるため、「はい」ボタンを押します。

サポートログ収集	
サポートログを収集します。 サポートログ収集後は再起動が必引 よろしいですか?	臣です。
	(ILI) (ILIR)

図 5.59 サポートログ収集確認画面

サポートログを収集中は「サポートログ収集中」ポップアップ画面が表示され、収集結果が表示されます。

サポートログ収集中
サポートログ収集中
<i>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</i>

図 5.60 サポートログ収集中ポップアップ画面

結果は、ポップアップメッセージで表示されます。

- 成功した場合
 - 以下のポップアップメッセージが表示され、本装置の ID ランプが点灯します。

サポートログ収集	
サポートログ収集に成功しました。 シャットダウンします。	
チャネル接続機構をシャットダウン後、	再起動する

失敗した場合

以下のポップアップメッセージが表示され、本装置の ID ランプが点滅します。再度発生する場合は、 保守技術員(担当 CE) に連絡してください。

サポートログ収集	
サポートログ収集に失敗しました。	
	閉じる

5.2.7 UPS 設定

本装置を UPS に接続する場合の設定を行います。

注意

UPS 設定後は本装置の再起動が必要です。

手順 ▶▶▶ ─────

- メニューパネルから「UPS 設定」を選択します。
 コンテンツパネルに UPS 設定の項目が表示されます。
- 2 「UPS 設定」タブおよび「自動停止設定」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

	(1) (2)	(3) (4)
UPS股定		
UPS設定 自動停止設定		
UPS: 接続しない	•	
IPアドレス:		
ユーザ名:		
パスワード:		
適用 キャン	tu)	

図 5.61 UPS 設定(UPS 設定)

- 444



図 5.62 UPS 設定(自動停止設定)

備考

自動停止設定は、UPS 項目で「接続する」に設定後、設定が可能になります。 UPS 設定で「接続する」を選択すると、自動停止設定が設定可能になります。UPS 設定で「接続しない」を選択すると、本装置の自動停止設定は無効化され、自動停止は行いません。

自動停止:	なし マ	
自動特別上同時間時間;	120 🔺 🔻 🕫	

図 5.63 設定可能な自動停止設定

タブ	番号	項目	説明
UPS 設定	(1)	UPS	本装置を UPS に接続するかどうかを指定します。本装置が UPS に接
			続されていない場合は、「接続しない」を選択してください(*1)
			(*2)。
			 接続しない
			本装置を UPS に接続しない場合に選択します。
			 接続する
			本装置を UPS に接続する場合に選択します。
	(2)	IP アドレス	UPS の IP アドレスを指定します(*3)(*4)。
	(3)	ユーザ名	UPS と接続するためのユーザ名を入力します。ユーザ名を1~10文
			字で入力します。入力可能文字は、半角英数字、半角記号(*5)で
			す。先頭と末尾に半角空白は使用できません。(*3)(*4)
	(4)	パスワード	UPS と接続するためのパスワードを入力します。パスワードを15~
			32 文字で入力します。入力可能文字は、半角英数字、半角記号(*6)
			です。先頭と末尾に半角空白は使用できません。(*3)(*4)

表 5.24 UPS 設定の項目

タブ	番号	項目	説明	
自動停止 設定	(5)	自動停止	停電等で電力供給が UPS に切り替わった際に、本装置を自動的に停止 するかどうかを選択します。各指定は以下のとおりに行います。 • なし 本装置の自動停止を行いません。UPS からの電力供給で起動を継 続します(*7)。	
			本装置の自動停止を行います。	
	(6)	自動停止開始 時間	「自動停止」で「あり」を選択した場合に、設定することができます。 UPS からの電力供給に切り替わってから本装置の停止を開始するまで の時間を 0-600 秒の間で指定します(*8)。	

*1: 本装置が UPS に接続されていない状態で「接続する」を選択すると、自動停止は動作しません。

- *2: 本装置との接続を推奨する UPS は「付録 F 周辺機器(推奨)」(P.136) を参照してください。
- *3: UPS で「接続する」を選択した場合に、入力することができます。

UPSIRCE	自動停止設定	
UPS:	接続する ▼	
IPアドレス		
ユーザ名:		
177-K		

図 5.64 入力可能な UPS 設定

- *4: UPS の設定はご使用の UPS の取扱説明書およびネットワークマネジメントカードのユーザーズガイドを参照してください。
- *5: ¥ (円マーク)、" (ダブルクォーテーション)、# (シャープ)、% (パーセント)、& (アンパサンド)、< (小 なり)、= (イコール)、> (大なり)、? (クエスチョン)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、: (コロン) は 使用できません。
- *6: ¥ (円マーク)、" (ダブルクォーテーション)、< (小なり)、> (大なり)、# (シャープ)、: (コロン) は使 用できません。
- *7: UPS で「接続する」を選択した場合、UPS がバッテリー容量低下を示す「Low Runtime Warning」状態に なった場合、自動停止の設定状態に関わらず、本装置は自動停止します。
- *8: 自動停止開始時間に設定する時間は、本装置の停止完了前に UPS の電源供給が終了しないよう、以下の条件 に合致するように考慮して設定してください。 UPS の電源供給可能時間 > 自動停止開始時間 + 本装置の停止時間(180 秒)

3 「適用」ボタンを押します。 再起動を確認する「UPS 設定の適用」画面が表示されます。 「はい」ボタンを押すと、本装置を再起動し、設定を反映します。 「いいえ」ボタンを押すと、本装置を再起動せずに本画面を閉じます。設定は反映されません。

の予設との適用	
UPS設定を適用する(こは再起動が必要です。
適用して再起動します	ち。よろしいですか?

図 5.65 UPS 設定の適用画面

5.2.8 パスワード変更

一般ユーザモードとユーザ管理者モードにログインする際のパスワードを変更する場合に本操作を行います。

注意

ユーザ管理者モードのパスワードは一般ユーザには公開せず、定期的に変更してください。

手順 ▶▶▶ ────

- **1** メニューパネルから「パスワード変更」を選択します。 コンテンツパネルにパスワード変更の項目が表示されます。
- 2 「一般ユーザパスワード変更」タブおよび「ユーザ管理者パスワード変更」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。







図 5.67 パスワード変更(ユーザ管理者)

表 5.25	パスワー	・ド変更の設定項目	(一般ユ-	ーザ	/ ユーザ管理者)
--------	------	-----------	-------	----	-----------

番号	項目	説明
(1)	現在のパスワード	現在の一般パスワードを入力します。 入力した文字は「●」(黒丸)で表示されます。 一般ユーザパスワードは、初回設定されていないため、初回変更時は、 入力不要です。
(2)	新しいパスワード	 新しい一般ユーザパスワードを以下の制限内で入力します。 ・文字数上限 16文字 ・文字種別 半角英数字、"."(ドット) 入力した文字は「●」(黒丸)で表示されます。
(3)	パスワードの確認	新しいユーザパスワードの入力が正しいかを確認するために、再度新しい パスワードを入力します。入力した文字は「●」(黒丸)で表示されます。
(4)	ー般ユーザパスワードを 初期化	一般ユーザのパスワードを初期化します。

「一般ユーザパスワードを初期化」を押すと、確認画面が表示されます。 「はい」を押すと、一般ユーザのパスワードを初期化して、確認画面を閉じます。 「いいえ」を押すと、一般ユーザのパスワードを初期化せずに本画面を閉じます。

一般ユーザパス	マードの初期化
一般ユ ー ザのハ よろしいですか	ペスワードを初期化します。 ^?



3 「適用」ボタンを押します。

5.2.9 一般ユーザモード

ユーザ管理者モードから一般ユーザモードに遷移する場合に操作します。 遷移後は一般ユーザモードのメニュー表示になります。

手順 ▶▶▶ ────

- 1 メニューパネルから「一般ユーザモード」を選択します。
- **2** 「OK」ボタンを押します。



図 5.69 一般ユーザモード

一般ユーザモードに遷移します。

_____ **<**

第6章 トラブルシューティング

異常が発生した場合、まずはプリンタ装置の主操作パネル/副操作パネルを確認してください。プリンタ装置に 異常が見受けられない場合は、本装置の Web-UI に一般ユーザモードでログインして、メインパネルの装置状態 をご確認ください。

本装置の状態コードの内容を表 6.1 に、エラーコード、メッセージ表示に対する復旧手順を表 6.2 に示します。

コード	エラー発生原因の事象
50	オーバレイデータエラー
80	チャネル制御異常
82	チャネル接続機構ハード異常
83	プロセス監視異常
84	ホストコマンドシーケンス異常
85	第 2FPD 系異常
87	描画処理異常
89	内部論理矛盾系異常
8A	ストレージ系異常
8B	通信(LAN)系異常
8C	オプション系異常
8D	プリンタ装置要因
8E	ランリセット(システムリセット)
8F	ドライバ異常

表 6.1 装置コードの内容状態

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
50	ER50-XX	◇オーバレイデータエラー が発生しました◇ リセットを押してください。	オーバレイデータ エラー	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。
80	ER80-00	担当 CE にご連絡ください。	FC カード異常 (初期化時)	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 CE)に
	ER80-01		FC カード異常 (運用時)	連絡してください。
	ER80-10		FC ドライバイン ターフェース異常	
	ER80-20		FC カードスロット 状態異常	
	ER80-3X		FC ドライバイン ターフェース異常	
	ER80-A0	◇装置エラー◇ ホスト接続を確認してくだ さい。	ホスト通信不可能 状態	富士通メインフレームとの接続を確認し てください。再度発生する場合は、保守 技術員(担当 CE)に連絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
82	ER82-0X	担当 CE にご連絡ください。	装置内ハードウェア 異常 (重要度:Critical)	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 (E)に 連絡してください。
	ER82-10	◇装置エラー◇	装置内ハードウェア	本装置に重度(Major)のエラーが発生
	ER82-11	リセットを押してください。	異常 (重要度:Major)	しています。保守技術員(担当 CE)に 連絡してください。
	ER82-12	担当 CE にご連絡ください。	装置内通信エラー	本装置を再起動してください。再度発生
	ER82-13		未確認の装置内ハー ドウェア異常発生	する場合は、保守技術員(担当 CE)に 連絡してください。
	ER82-14	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	装置内通信異常	「リセット」ボタンを押してください。
	ER82-15	担当 CE にご連絡ください。	LAN ポート異常	本装置を再起動してください。再度発生
	ER82-1D		装置内ハードウェア 異常 (重要度:Critical)	する場合は、保守技術員(担当 CE)に 連絡してください。
	ER82-20		メモリエラー	
	ER82-30			
	ER82-44			
	ER82-51			
	ER82-52			
	ER82-CX			
	ER82-53		装置内論理エラー	
83	ER83-1X	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生
	ER83-21			9 る場合は、保守技術員(担当 LE)に 連絡してください
	ER83-40			
	ER83-60			

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
84	ER84-01	◇コマンドシーケンスエ ラーが発生しました◇ リセットを押してください。	コマンドシーケンス エラー (イメージ)	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、プログラムのデー タを確認してください。
	ER84-02		コマンドシーケンス エラー(図形)	
	ER84-03		コマンドシーケンス エラー (カッタフル)	
	ER84-04		コマンドシーケンス エラー (QR コード)	
	ER84-80		コマンドシーケンス エラー(キャンセル スイッチ)	
	ER84-A0	-	コマンドシーケンス エラー(ページデー 夕混在)	
	ER84-A1		コマンドシーケンス エラー(キャンセル スイッチ)	
	ER84-C0	◇消失ページチェック◇ リセットを押してください。	リカバリページ 位置確認依頼	「リセット」ボタンを押してください。 用紙づまりが発生した箇所のページカウ ントを正しく富士通メインフレームに通 知できていない可能性があります。リカ バリ印刷を行う場合は重複印刷ページが 発生する場合がありますので、プリンタ 装置で印刷を確認してください。
85	ER85-52	◇フロッピィ異常◇ 第 2FPD を確認してくださ い。	FPD データ形式 異常(IPL 時)	本装置の一般ユーザモードの「第 2FPD 設定」を確認し、間違っている場合は修 正してください。本装置を再起動し、再 度発生する場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。
87	ER87-54	担当 CE にご連絡ください。	ページカウント 更新タイムアウト	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 CE)に
	ER87-30	-	装置内論理エラー	連絡してください。
	ER87-4X	-		
	ER87-50	-		
	ER87-80			

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
89	ER89-0X	担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生
	ER89-1X			する場合は、保守技術員(担当CE)に
	ER89-2X			連絡してくたさい。
	ER89-31			
	ER89-4X			
	ER89-5X			
	ER89-60			
	ER89-70			
	ER89-30		システムコール 異常	
8A	ER8A-2X	担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生
	ER8A-30			する場合は、保守技術員(担当(E)に
	ER8A-40			連絡してくたさい。
	ER8A-51		SSD ハード異常	
	ER8A-52	◇ FPD 異常◇ 第 2FPD を確認してくださ い。	第 2FPD ハード エラー	「リセット」ボタンを押してください。 本装置の一般ユーザモードの「第 2FPD 設定」を確認し、間違っている場合は修 正してください。再度発生する場合は、 保守技術員(担当 CE)に連絡してくだ さい。
	ER8A-52		第 2FPD ハード	本装置の一般ユーザモードの「第 2FPD
			エラー(IPL 時)	設定」を確認し、間違っている場合は修 正してください。本装置を再起動し、再 度発生する場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。
	ER8A-54	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生
	ER8A-60		SSD ハード異常	する場合は、保守技術員(担当 CE)に 連絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8B	ER8B-80	 ◇通信エラー◇ ネットワーク、プリンタ装置を確認ください。 	プリンタ装置を 接続できません。	以下を確認してください。 ・オートスタート時、「中止」ボタンを 押した場合は確認不要です。 ・「プリンタ接続」ボタンを押したあと のプリンタ接続時、「中止」ボタンを 押した場合は確認不要です。 ・ネットワークとネットワーク関連装 置の設定と状態を確認してください。 ・接続対象のプリンタ装置が起動して いるか確認してください。 ・プリンタ装置が起動している場合 は、プリンタ装置が起動している場合 は、プリンタ装置が起動していない場 合は、電源を投入し、プリンタ装 置を起動してください。 上記の確認後でも再度発生する場合は、 保守技術員(担当 (E) に連絡してくだ さい。
	ER8B-90	 ◇通信エラー◇ プリンタ装置を確認してく ださい。 	プリンタ装置の 状態を確認してくだ さい。	接続しているプリンタ装置の状態を確認 してください。
	ER8B-F0	◇通信エラー◇ プリンタ装置の電源が切断 されました。	プリンタ装置の 電源が切断されまし た。	接続しているプリンタ装置の電源切断を 受理しました。プリンタ装置の電源を投 入し、プリンタ装置が起動してから、 「リセット」ボタンを押してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8C	ER8C-21	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	NTP サーバと接続で きません。	「リセット」ボタンを押してください。 ユーザ管理者モードの「NTP 設定」を確 認し、間違っている場合は修正してくだ さい。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE)に連絡してください。
	ER8C-22	-	装置内論理エラー	「リセット」ボタンを押してください。
	ER8C-23	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生
	ER8C-24		CHECK CODE が 正しくありません。	連絡してください。
	ER8C-A0	◇ UPS 異常◇ UPS を確認してください。	UPS 異常 (過負荷状態)	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、保守技術員(担当
	ER8C-A1		UPS 異常 (バッテリー交換要)	
	ER8C-A2		UPS 異常 (バッテリー未装着)	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 CE)に 連絡してください。
	ER8C-A3		UPS と接続できません。	「リセット」ボタンを押してください。 再度発生する場合は、保守技術員(担当 CE)に連絡してください。
	ER8C-A4		UPS からの信号に より自動停止しまし た。	UPS および電源の状態を確認してくださ い。
	ER8C-B0	本装置を再起動してくださ い。	CUPS 異常	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 CE)に 連絡してください。
8D	ER8D-40	◇装置エラー◇	サポートしていない	本装置を再起動してください。再度発生
	ER8D-41	担当(Eにご連絡ください。	フリンタが接続され ています。	する場合は、保守技術員(担当(E)に 連絡してください。
	ER8D-42		異なるシリアル 番号のプリンタが接 続されています。	
	ER8D-4A	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	ジョブ送信プロトコ ル(LPR)の異常 応答受信	「リセット」ボタンを押してください。 プリンタ装置に蓄積されているジョブ 数、またはジョブの容量を確認してくだ さい。プリンタ装置の確認結果に異常が なく、再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE)に連絡してください。
	ER8D-4B			「リセット」ボタンを押してください。 プリンタ装置との通信に異常が発生しま した。プリンタ装置の状態とネットワー クを確認してください。確認結果に異常 がなく、再度発生する場合は、保守技術 員(担当 CE)に連絡してください。
	ER8D-58	担当 CE にご連絡ください。	ジョブ送信プロトコ ル (BPP) の異常 広答母信	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 CE)に 連絡してください
	ER8D-4F		<u>パッロスに</u> プリンタ通信プロト	
			」ル異常	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8E	ER8E-0X	◇システムリセットが発行 されました◇ リセットを押してください。	システムリセットを 検出しました。	「リセット」ボタンを押してください。
8F	ER8F-AA	担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生 する場合は、保守技術員(担当 (E)に 連絡してください。

本装置の基本仕様を以下に示します。

表 A.1 基本仕様

	項目	仕様
接続可能メインフレ	ノーム	GS21 3600/3400 モデルグループ
		GS21 2600/2400 モデルグループ
		PRIMEQUEST 3000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構
		PRIMEQUEST 2000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構キット 2 /キット 3
接続インター	富士通メインフレーム	FCLINK チャネル(*1)、コンソール・テープ接続機構(CTS)
フェース	プリンタ	Ethernet-LAN (1000BASE-T)
	運用管理端末	Ethernet-LAN (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)
データ形式		JEF(ラインプリンタモード)
		JEF/AP(ページプリンタモード)
ウォームアップ時間	引(目安)	1分
装置寿命		5年

*1: SCL5 および FCLS 経由可です。

注意

- Ethernet ケーブルは、EN 50173 および EN 50174-1/2 規格、または ISO/IEC 11801 規格にそれぞれ準拠 する必要があります。
- ・最低要件は、10Mbit/s Ethernet および 100Mbit/s Ethernet ではカテゴリ 5 以上の UTP ケーブル、 Gigabit Ethernet ではカテゴリ 5e 以上のケーブルを使用します。
- FCLINK ケーブルや LAN ケーブルは、装置構成に応じて必要な本数を準備してください。

付録 B 非互換一覧

富士通メインフレームから PS5000 シリーズプリンタにチャネル直結で印刷する場合(従来構成)と、富士通メ インフレームから本装置を中継して PS5000 シリーズプリンタに印刷する場合の相違点を以下に示します。 なお、各装置の操作や設定内容などの違いは、「第2章運用方法」(P.33)の表 2.1 を参照してください。

分類	項目	従来構成(富士通メインフレーム +PS5000 シリーズ)	富士通メインフレーム + 本装置 +PS5000 シリーズ
システム構成	ホスト I/F	BMC/PSD チャネル	FCLINK/ コンソール・テープ接続機構 チャネル
	接続 PC	プリンタの主操作パネル操作のため不 要	本装置 Web-UI による操作のため、ブラ ウザ搭載 PC および LAN 接続が必要
	装置構成	プリンタ装置単体	本装置 + プリンタ装置 + 運用管理端末
印刷	マーク印刷	コピーセパレーションマーク	コピーセパレーションマーク
		ジョブセパレーションマーク	
		オフセットマーク	オフセットマーク
	2up	サポート	非サポート
	セルフリカバリ	サポート	非サポート
運用	操作方法	プリンタ装置の主操作パネルで操作	プリンタ装置の主操作パネル、および 本装置の Web-UI で操作
	装置のトラブル 対応	プリンタ装置トラブルのホスト報告あ り	 プリンタ装置トラブルのホスト報告 あり 本装置トラブルのホスト報告あり
		プリンタ装置のオペレータ画面で トラブル要因を確認して対応する	プリンタ装置のオペレータ画面、または 本装置の Web-UI でトラブル要因を確認 して対応する
	電源連動 I/F	SCCI(ホスト→プリンタ装置) PPC(ホスト→プリンタ装置)	PS5600CL:SCCI×1(ホスト→プリンタ 装置)(*1) PS5110BL:不可
	電源連動	ホストからプリンタ装置の電源 ON/ OFF 指示が可能	ホストからプリンタ装置の電源 ON/OFF 指示が可能 ホストまたはプリンタ装置から、本装置 の電源 ON/OFF の指示は不可 (*1)
設置	設置性	プリンタ装置のみ	プリンタ装置 + 本装置(*2)
	接続	ホスト - プリンタ装置間を BMC/PSD チャネル用ケーブルで接続する	以下で接続する • ホスト - 本装置間は FCLINK ケーブル • 本装置 - プリンタ装置間は LAN ケー ブル
	無停電電源装置 (UPS)	PS5600C: プリンタ装置に内蔵 PS5110B: プリンタ装置に内蔵(*3)	PS5600CL:プリンタ装置に内蔵 PS5110BL:非サポート 本装置:サポート(*4)

表 B.1 従	法構成と富士通メインフレー	ュ + 本装置 +PS5000 シリ・	ーズとの相違点
---------	---------------	---------------------	---------

*1: PS5600CL の SCCI のみ。SCCI は 1 口のみです。増設はできません。

*2: 本装置はラックマウントタイプ(1U)のため、サーバーラックへの搭載が必要です。

*3: チャネル接続機構オプション (PS5110B10) 搭載時のみ

*4: サポートする無停電電源装置(UPS)は「付録 F 周辺機器(推奨)」(P.136) を参照してください。

C.1 設置条件(プリンタ装置、管理端末を除く)

本装置の設置条件を以下に示します。

表 C.1 設置条件

項目	仕様
外形寸法(幅 × 奥行き × 高さ)	483mm×770.7mm×42.9mm
質量	最大 15.8kg(22.4kg(ラックレール含む))
入力電圧	100V(50Hz-60Hz)/NEMA 5-15 準拠
消費電力	最大 0.92kW
温度条件	動作時 10 ~ 35 ℃
湿度条件	10~85% (結露なきこと)
音量レベル	24dB(待機時)、39dB(動作時)
発熱量	最大 3,312kJ/h

表 C.2 設置条件(ラック搭載)

項目	仕様
ラックでの取り付け時の奥行き	770.7mm
ラックサイズ	10
19インチラックマウント	対応
ラックでのケーブル配線時の奥行き	200mm(1000mm ラックを推奨)



図 (.1保守エリア

本装置(チャネル接続機構: PS5600C50/PS5110B50)を含めたプリンタ装置のオプション機構を以下に示します。

なお、本装置(PS5600C50/PS5110B50)はプリンタ装置のオプションです。

表 D.1 PS5600CL/PS5110BL 共通オプション

項	名称	型名	JEF	JEF/AP	備考
1	2 チャネルスイッチ	PS5CHSW	0	0	2 台のホストを接続し、切り替えして利用す る場合に必要なオプション

表 D.2 PS5600CL 用オプション

項	名称	型名	JEF	JEF/AP	備考
1	400dpi 出力機構	PS5600C24		0	JEF/AP(ページプリンタ装置)印刷時に必要 なオプション < PS5600C50、PS5600C54 必須>
2	600dpi 出力機構	PS5600C25	0		JEF(ラインプリンタモード)印刷時に解像 度 240dpi 印刷データを 600dpi に変換して 出力可能 < PS5600C50 必須>
3	パトロールライト	PS5600C41	0	0	黄色回転灯(オペレータ介入を必要とすると きに点灯) プリンタ装置と同時手配が必要(現地増設 不可)
4	チャネル接続機構	PS5600C50	0	0	FCLINK/CTS チャネル接続印刷するための必 須オプション
5	拡張オーバレイ機構	PS5600C52	0	0	基本部 4MB から 20MB 分までフォームオー バレイデータを収容可能にするために必要な オプション < PS5600C50 必須>
6	拡張文字パターン出力 機構	PS5600C53		0	JEF (ラインプリンタモード)で使用してい た、明朝フォントまたはゴシックフォントの 7、9、12 ポイント以外に JEF/AP (ページプ リンタモード)で任意の文字サイズ、教科書 体や毛筆体など各種フォントを追加で使用す る場合に必要なメモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード)印刷時のみ 有効 < PS5600C24、PS5600C50、PS5600C54 必須>
7	JEF/AP 出力機構	PS5600C54		0	JEF/AP(ページプリンタモード)印刷時に必 要なオプション < PS5600C24、PS5600C50 必須>
8	拡張バーコード出力機構	PS5600C55	0		JEF(ラインプリンタモード)にて GS1-128 (料金代理収納用)バーコードを印刷する場 合に必要なオプション < PS5600C25、PS5600C50 必須>
9	QR コード出力機構	PS5600C56	0	0	QR コード印刷をする場合に必要なオプショ ン < PS5600C50 必須>

項	名称	型名	JEF	JEF/AP	備考
1	600dpi / 2up 出力機構	PS5110B25	0		JEF(ラインプリンタモード)印刷時に解像 度 240dpi 印刷データを 600dpi に変換して 出力可能 < PS5110B50 必須>
2	チャネル接続機構	PS5110B50	0	0	FCLINK/CTS チャネル接続印刷するための必 須オプション
3	拡張オーバレイ機構	PS5110B52	0	0	基本部 4MB から 20MB 分までフォームオー バレイデータを収容可能にするために必要な オプション < PS5110B50 必須>
4	拡張文字パターン出力 機構	PS5110B53		0	JEF (ラインプリンタモード)で使用してい た、明朝フォントまたはゴシックフォントの 7、9、12 ポイント以外に JEF/AP (ページプ リンタモード)で任意の文字サイズ、教科書 体や毛筆体など各種フォントを追加で使用す る場合に必要なメモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード)印刷時のみ 有効 < PS5110B50、PS5110B54 必須>
5	JEF/AP 出力機構	PS5110B54		0	JEF/AP(ページプリンタモード)印刷時に必 要なオプション < PS5110B50 必須>
6	拡張バーコード出力機構	PS5110B55	0		JEF(ラインプリンタモード)にて GS1-128 (料金代理収納用)バーコードを印刷する場 合に必要なオプション < PS5110B25、PS5110B50 必須>
7	QR コード出力機構	PS5110B56	0	0	QR コード印刷をする場合に必要なオプショ ン < PS5110B50 必須>

表 D.3 PS5110BL 用オプション

本装置の装置添付品を以下に示します。<u>表 E.1</u>を参照して、添付品に漏れがないかご確認ください。 万一、欠品などがありましたら、担当営業員に連絡してください。

- 添付のリカバリ/セットアップディスクは、システムの変更時やファームウェアの再インストール時に必要 となるため、大切に保管してください。
- •本書に記載の添付品のほかに、注意書きの紙が入っている場合があります。
- QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

項	名称	個数	用途/備考
1	電源コード	1本	3m、平行2ピン、アース極付き
2	ラックレールキット	1式	 ラックレール(1セット) ネジキット(1式) センタリングスクリュー(4個) M5 皿ネジ(2個) イージーマウントクリップアンロック治具(1個)
3	ラックレールキット 取り付け手順	1部	
4	ケーブルクランプホルダー	1個	
5	取扱説明書(CD)	1枚	このマニュアル
6	SSD リカバリディスク(PS5110B50) FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構(DVD)(*1)	1枚	保守作業用に使用
7	SSD リカバリディスク(PS5600C50) FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構(DVD)(*1)	1枚	保守作業用に使用
8	システムボード セットアップディスク (BIOS/iRMC) FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構(CD)	1枚	保守作業用に使用
9	FCLINK カード セットアップディスク FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構(CD)	1枚	保守作業用に使用
10	はじめにお読みください	1部	
11	安全上のご注意	1部	
12	装置添付品	1部	
13	試験成績書	1部	
14	ライセンスシート	1~5	ご購入されたオプション(*2)ごとに1枚添付されます。
		枚	ライセンスは保守技術員(担当 CE)が登録します。

表 E.1 装置添付品

*1: プリンタ装置によりいずれかが添付されます。

- *2: 対象オプションは、以下のとおりです。
 - 拡張オーバレイ機構 (PS5600C52/PS5110B52)
 - 拡張文字パターン出力機構(PS5600C53/PS5110B53)
 - JEF/AP 出力機構(PS5600C54/PS5110B54)
 - 拡張バーコード出力機構(PS5600C55/PS5110B55)
 - QR コード出力機構 (PS5600C56/PS5110B56)

使用を推奨する周辺機器を以下に示します。

表 F.1 推奨周辺機器

項	名称	型名	備考
1	Smart-UPS SMT 1500RMJ	PY-UPAR152	瞬時電圧低下/停電発生時にチャネル接続機構を正常に電源 OFF する ための無停電電源装置
2	Smart-UPS SMT 1200RMJ	PY-UPAR122	
3	ネットワークマネ ジメントカード	PY-UPC01	UPS の監視・管理や UPS の ON/OFF をリモートで行うことが可能な Smart-UPS SMT 1500RMJ と Smart-UPS SMT 1200RMJ のオプション 製品 UPS 背面のアクセサリスロットに接続

FUJITSU Printer PS5000 シリーズ チャネル接続機構(PS5600C50 / PS5110B50) 取扱説明書

P3AG-4752-03Z0

発行日 2022 年 1 月発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ●本書の内容は、細心の注意を払って制作致しましたが、本書中の誤字、情報の抜け、 本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご 了承願います。
- ●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害 については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

